

徳島県歯科医学大会



徳島県における歯科医療の現状と将来

プログラム・抄録集

令和2(2020)年

日時

2/2 日

会場

徳島県JA会館 本館

〒770-0011

徳島県徳島市北佐古一番町5-12

TEL 088-634-2663

大会長

森 秀司

(徳島県歯科医師会会長)

宮本 洋二

(四国歯学会会長、徳島大学歯学部長)

主催：徳島県歯科医師会／四国歯学会

併催：四国歯学会第56回例会／MARUMI DENTAL SHOW 2020

共催：徳島県歯科技工士会／徳島県歯科衛生士会／徳島県歯科用品同業会

後援：徳島大学歯学部／四国歯科衛生士学院専門学校／専門学校穴吹福祉医療カレッジ／

徳島歯科学院専門学校／徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科

徳島県歯科医学大会

◆徳島県における歯科医療の現状と将来



令和2(2020)年

日時 **2/2** 日

会場 **徳島県JA会館**

森 秀司
(徳島県歯科医師会会长)
宮本 洋二
(四国歯学会会長)

主催：徳島県歯科医師会／四国歯学会
併催：四国歯学会第56回例会／MARUMI DENTAL SHOW 2020
共催：徳島県歯科技工士会／徳島県歯科衛生士会／徳島県歯科用品同業会
後援：徳島大学歯学部／四国歯科衛生士学院専門学校／専門学校穴吹福祉医療カレッジ／
徳島歯科学院専門学校／徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科

ご挨拶



徳島県歯科医師会会長
森秀司

大寒の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、元号が新たに「令和」となり、改めて歯科保健・歯科医療分野におきまして、更なる充実と進化を求められていると感じております。

この度、徳島県内の歯科医療関係の皆様にお集まりいただき、歯科医療の現状と今後の進むべき方向性などにつきまして、相互の理解と情報の共有を深めたく、県内大学、及び専門学校等歯科保健教育関係の方々、歯科技工士会、歯科衛生士会、そして歯科医師会会員の皆様に、ご参会いただくべくお声をかけさせていただきました。

このことは徳島県内の歯科保健・医療活動を行う我々にとりまして初めての試みであり、未来に

向かって進むための嚆矢とさせていただきたいと思っております。

特別講演としまして、日本歯科医師会会长の堀憲郎先生にお願いいたしましたところ、健康寿命の延伸と口腔の健康との関係につきましてご講演をいただくことになり、本県の歯科医療関係者にとりましては、またとない機会をいただいたと感謝しております。

本大会を開催することにあたりまして、関係各位のご尽力、ご支援をいただきましたことに、感謝申し上げますとともに、多くの皆様がご出席され、忌憚のないご意見を交換する場としていただきたくお願い申し上げ、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



四国歯学会会長
宮 本 洋 二

この度、徳島県歯科医学大会が開催されます事、本当にうれしく感じております。

徳島大学歯学部は、1976年に四国で唯一の歯学部として設置されました。その後、2007年には、歯学科に加え、歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家資格が取得できる口腔保健学科を設置し、全国に先駆けて歯科医学と福祉を融合して学ぶことのできる歯学部となりました。歯学部の創設からは、すでに43年が経っています。これまで歯科医師会とは学術および地域医療の両面で連携を続けて参りましたが、このような学会の開催は初めてです。四国の他県では以前から、このような学会があったにもかかわらず、歯学部のある徳島でこの企画がなかったことは不思議であり、少し遅れた感があります。あまりに十分な連携が取れていたため、当たり前すぎて学会にしようという認識がなかったためかもしれません。

さて、人口減少、特に生産年齢人口の減少と老年人口の急速な増加は日本の抱える大きな問題ですが、その中でも徳島県は高齢化が進んだ県の一つです。もちろん、徳島県の歯科医療の将来にとっ

ても喫緊の課題といえます。これは歯科医師だけの問題ではありませんし、歯科医師だけで解決できるものでもありません。このような時期に、徳島県の歯科技工士会、歯科衛生士会、歯科教育機関、歯科用品同業会が一堂に会して、徳島県の歯科医療の直面する課題を総合的に話し合い、その中で持続可能な未来志向の歯科の将来像を追求する非常に意義のある学会としたいと思います。そして、この学会を定期的に開催して、徳島県の全ての歯科関係者、特に若い方の道標となることを期待します。

学会というと堅苦しく感じられるかもしれません。しかし、大事なことは、難しいことは易しく、易しいことは深く、深いことは楽しくです。ぜひ、学会を楽しんでください。

最後になりましたが、この学会の開催にあたり、笠原理事、岩本教授をはじめ、ご尽力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。そして、この学会が、参加されたすべての皆様にとって、心に残る素晴らしい行事となることをお祈り申し上げます。



特別講演

『健康寿命の延伸に向けて ～口腔の健康と全身の健康』



日本歯科医師会 会長
堀 憲郎 先生

■生年月日 昭和27年7月12日（満67歳）

■略歴	昭和54年3月	日本歯科大学卒業
平成3年4月	～平成9年3月	長岡市歯科医師会理事
平成3年4月	～平成9年3月	新潟県歯科医師会社会保険委員
平成9年4月	～平成12年3月	新潟県歯科医師会理事
平成12年4月	～平成17年3月	新潟県歯科医師会常務理事
平成17年4月	～平成18年3月	新潟県歯科医師会専務理事
平成18年4月	～平成21年9月	新潟県歯科医師会常務理事
平成21年10月	～現在	新潟県歯科医師会顧問
平成4年6月	～平成17年5月	新潟県支払基金審査委員
平成12年8月	～平成18年3月	新潟県地方医療協議会委員
平成18年4月	～平成23年3月	日本歯科医師会理事
平成23年4月	～平成27年6月	日本歯科医師会常務理事
平成23年4月	～平成27年6月	中央社会保険医療協議会委員
平成23年4月	～平成27年6月	社会保障審議会医療保険部会委員
平成28年3月	～現在	日本歯科医師会会长

この度は、徳島県歯科医学大会で講演する機会を頂き感謝申しあげます。

我が国の公的医療保険制度は、大正11年に健康保険法の成立から始まると言われ、先人の尽力によりこの制度は約100年掛けて世界に冠たる制度に成熟し、それにより今我が国は実質的に世界一の長寿国になりました。

一方急激な少子高齢化等により、この掛け替えの無い我が国の財産である国民皆保険制度の維持が困難に直面し、医療界も一致してこの危機的状況の克服に向けて、議論と対応を重ねてきました。歯科界もその議論の中で「超高齢社会における新しい歯科医療の役割と責任は何か」を模索し、「形を直す歯科医療」から「口腔機能の維持・向上を目指す歯科医療」へ、という方向性を得ると共に、危機克服のキーワードとなっている「健康寿命の延伸」に関して、歯科医療と口腔健康管理の充実により、ドラマチックな貢献ができることを、15年以上に亘りエビデンスと共に発信してきました。

例えば、周術期の口腔機能管理の徹底により在

院日数が減ることや、歯周病と糖尿病の関係、脳血管疾患発症との関係、咀嚼と認知症の関係などが注目され、国民的な理解も深まるとともに、国の政策方針である「骨太の方針」にも3年に亘り「口腔の健康が全身の健康と密接に関わること」が明記され、内容も「生涯を通じた歯科健診の充実」、「国民への口腔機能管理の推進」、「地域における医科歯科連携の構築」、「エビデンスの精度の向上」、「フレイル対策への歯科からの関与」、「介護、障害分野への連携」など年々充実しております。更に骨太の方針以外にも「成長戦略実行計画」「脳卒中・循環器病対策基本法」「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」「認知症施策推進大綱」等々多くの政策の中に、歯科界が目指す方向性が共有されています。

今回の講演では、これまでの15年以上に亘る取り組みと日本歯科医師会としての現状認識、そして将来の歯科医療のあるべき姿についての方向性をご披露申しあげ、その実現に向かっての議論をさせて頂ければ幸いです。



テーマ「徳島県における歯科医療の現状と将来」

コーディネーター：中野雅徳先生（徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科 学科長）
来賓：堀憲郎先生（日本歯科医師会 会長）
演者：森秀司先生（徳島県歯科医師会 会長）
宮本洋二先生（徳島大学 歯学部長）
秋山佳弘先生（徳島県歯科技工士会 会長）
河野美枝子先生（徳島県歯科衛生士会 会長）

シンポジスト1



徳島県歯科医師会会長
森秀司先生

徳島県では、人口減少、少子高齢化が急速に進んでいます。

歯科においても、むし歯の減少等の疾病構造の変化のみならず、口腔機能と健康寿命の関連性がクローズアップされるなど、社会から求められ期待される歯科領域がますます広がっています。

こうした状況に対応する上で、歯科医師会として地域包括ケアシステムへの対応や、口腔機能管理の充実をはじめ、他職種との連携を強化すべき課題にしっかりと向き合うことが求められており、先般、笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例が、改正されたところです。オーラルフレイル、フッ素応用、口腔機能管理などの文言が加えられました。

また訪問診療、医療連携、公的病院との連携も重要な課題であり、具体的に行なったこととして、訪問診療では、在宅歯科医療連携室を、東部、西部、南部におき病院、在宅等の訪問診療の依頼、相談に応じています。周術期の対応として、専門の歯科医師を雇用し、徳大病院、県立中央病院、徳島市民病院、鳴門病院、三好病院、半田病院、日赤病院と連携しています。これからは、地域包括ケアシステムに合わせ、医療圈ごとの連携構築がより一層求められます。阿南市では、阿南市、健祥会グループ、徳島県歯科医師会の三者で口腔管理に関する連携合意書が、締結されました。三好病院では、非常勤の歯科衛生士を派遣し、地元歯科医師会との連携を強化します。海部病院では、歯科衛生士が雇用され連携構築を進めている状況です。

また障害者治療においては、口腔保健センターの器機設備の更新を行い、充実をはかっています。その他、食育という観点から、徳島県、JAと共同し、とくしま食育フェスタも開催しています。スポーツ歯科では、甲子園出場が決まった、富岡西高校野球部にも、マウスガードを提供しました。これからは、他職種連携、他団体と連携した事業を見据え、様々な領域での歯科医療の提供が重要な課題と考えています。

■略歴
昭和49年3月 大阪歯科大学卒業
昭和52年4月～現在 現在地において歯科医院を開設
昭和60年4月～平成3年3月 (社)徳島県歯科医師会代議員
昭和63年4月～平成9年3月 (社)徳島県歯科医師会阿南市那賀郡支部副会長
平成3年4月～平成15年3月 (社)徳島県歯科医師会理事
平成3年6月～平成9年5月 徳島県社会保険診療報酬請求書審査委員会委員

平成9年4月～平成18年3月 (社)徳島県歯科医師会阿南市那賀郡支部会長
平成9年6月～平成21年9月 徳島県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
平成15年4月～平成18年3月 (社)徳島県歯科医師会常務理事
平成18年4月～平成21年3月 (社)徳島県歯科医師会副会長
平成27年6月～現在 (一社)徳島県歯科医師会会長

シンポジスト2



徳島大学歯学部長
宮本洋二先生

徳島大学歯学部は、毎年、43名の歯科医師と15名の歯科衛生士・社会福祉士を育成しています。歯科医師の供給過剰という意見も聞きますが、高度で優しい治療を国民へ提供するためには決して過剰とは言えません。歯科衛生士については多くの求人がありますので、徳島県の歯科医療に貢献できているものと考えています。当然ではありますが、優秀な歯科医師と歯科衛生士を社会に送り出すことが、本学歯学部の最も重大な責務です。

教育における現状の課題としては、地域包括ケアシステムと訪問歯科診療への対応、災害歯科医療および法歯学教育の充実があります。地域貢献では、地域の歯科診療所の支援と成人障がい者歯科治療の充実、歯科衛生士の需給問題の改善や無歯科医師地域への対応が課題です。

いずれも地域医療を支えている徳島県歯科医師会の先生方との連携がなければ対応できないことばかりです。ぜひ、これらの問題について、フロアの皆さんと共に考えたいと思います。

■略歴
昭和58年3月 徳島大学歯学部歯学科卒業
昭和62年3月 徳島大学大学院歯学研究科修了、歯学博士
昭和62年4月 德島大学助手歯学部
平成4年4月 德島大学講師歯学部附属病院
平成15年12月 秋田大学助教授医学部附属病院歯科口腔外科、
同医学部附属病院歯科口腔外科長併任

平成17年6月 秋田大学教授医学部附属病院
平成19年4月 徳島大学教授大学院医歯薬学研究部口腔外科学分野
平成31年4月 徳島大学歯学部長

シンポジスト3



一般社団法人
徳島県歯科技工士会会長
秋山 佳弘先生

■略歴 昭和60年3月 徳島歯科学院専門学校 卒業
昭和60年6月 杉山歯科（川島町）勤務
平成7年7月 アーネスト歯研 開業
平成9年4月 徳島県歯科技工士会専務理事 就任
平成10年10月 (有)アーネスト・デンタルクリエイション 設立
平成11年4月 徳島県歯科技工士会副会長 就任

平成13年4月 徳島県歯科技工士会会長 就任
平成26年4月 日本歯科技工士連盟総務理事 就任
平成28年4月 日本歯科技工士連盟常任総務 就任
平成30年4月 日本歯科技工士連盟副会長 就任
現在に至る

就業歯科技工士の高齢化及び若年者数の減少が危惧されだして久しいが、厚生労働省等の報告を見ると、就業歯科技工士総数は然程減少していないことが分かる。しかしながら、年齢階級別の直近データを見ると50歳以上が半数を占め、20、30歳代の減少が顕著である。このまま若年層の減少が続き、高齢就業者の退職が加わると、就業歯科技工士が大きく減少することは容易に想像できる。

一方、歯科技工士養成施設の数は20年ほど前から減少傾向にあり、平成12年に72校あった歯科技工士養成施設は、平成31年8月現在52校となっており、その殆どで定員割れが生じている。歯科技工士養成施設の定員割れは経営に大きな影響を及ぼすため、どの施設も入学者の確保に力を入れているが、定員割れ対策として入学者の基準を必要以上に下げることは、悪循環に繋がる可能性もある。

そこで、国民に良質な歯科補綴物を提供する歯科技工士の適正数を確保することを喫緊の課題と捉え、関連データを報告する。

シンポジスト4



一般社団法人
徳島県歯科衛生士会会長
河野 美枝子先生

■略歴 昭和52年3月 徳島歯科学院専門学校歯科衛生士科卒業
昭和52年4月～昭和57年4月 大坂歯科医院勤務
平成12年5月～平成23年3月 四国歯科衛生士学院専門学校勤務

平成22年4月～現在 徳島県歯科衛生士会 会長
平成23年4月～現在 徳島県歯科医師会在宅歯科医療連携室勤務

徳島県においても歯科診療所に勤務する歯科衛生士が不足しているため、今年度より徳島県歯科衛生士会では「公益社団法人日本歯科衛生士会 地域歯科衛生活動事業助成」を得て、新人歯科衛生士の離職防止および復職歯科衛生士への支援方法について指導者等講習会を受講した歯科衛生士会会員8名が中心となりシステムを構築している。

この事業は3年間にわたり実施する。初年度のシステム案を2年目に実施して、その評価を通して3年間に構築する。これらの事業を通して、新人歯科衛生士の離職防止と復職、また歯科衛生士会への入会促進・退会防止を推進して会員の増大に繋げ、さらに医療・介護と連携した良質で安全な歯科保健医療サービスを提供できることを目的にしている。

今年度は研修会を通して無記名でアンケートを実施した、その調査結果と次年度のシステム案を報告する。

コーディネーター



徳島文理大学 保健福祉学部
口腔保健学科学科長
中野 雅徳先生

■略歴 昭和45年 東京医科歯科大学歯学部卒業
昭和45年～47年 東京医科歯科大学歯学部副手・附属病院医員
昭和51年 東京医科歯科大学大学院修了
昭和51年～55年 長野県厚生連リハビリテーションセンター鹿教湯病院歯科医長
昭和55年～56年 徳島大学講師（歯学部歯科補綴学第二講座）
昭和56年～平成19年 徳島大学助教授（歯学部歯科補綴学第二講座）
平成19年～23年 徳島大学教授（歯学部口腔保健学科口腔保健学講座）

平成23年 徳島大学名誉教授
平成23年～27年 徳島大学特任教授
平成27年 徳島文理大学教授（口腔保健学科設立準備室）
平成29年～現在 徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科教授・学科長
昭和62年8月～昭和63年7月 文部省在外研究員（米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校 Clark GT 教授）



令和2(2020)年2月2日(日)

	本館			別館	
	1階 第1会場 (すだちホール)	8階 第2会場 (2号室)	8階 第3会場 (特別会議室)	1階、2階 大ホール	2階 5号室
	徳島県歯科医学大会	四国歯学会 第56回例会	談話室・休憩場	MARUMI DENTAL SHOW 2020	
9:00					
9:30	受付	ポスター掲示			
10:00				(株) 松風セミナー 正岡 明子 氏 (定員30名)	
10:20	開会式				
10:30	特別講演 堀 憲郎 先生 座長: 笠原 信治 先生	展示発表	第一会場 中継放送	MARUMI DENTAL SHOW 2020	
12:00			軽食サービス		デンツプライシロナ(株) セミナー 森田 勝也 氏 (定員30名)
12:30		ポスター討論 (質疑・応答)			
13:00					
13:30	シンポジウム 堀 憲郎 先生 森 秀 司 先生 宮 本 洋 二 先生 秋 山 佳 弘 先生 河 野 美枝子 先生 コーディネーター: 中 野 雅 德 先生	展示発表	第一会場 中継放送		福岡デンタル販売(株) セミナー 重富 智寛 氏 (定員30名)
14:00					
15:00	表彰式				
15:05	閉会式				
閉会式終了		ポスター撤去			
15:30					
16:00					

本館 1 階 第 1 会場 (すだちホール) ━━━━

開会式 10:20 ~ 10:30

開会の辞

四国歯学会

副会長 北畠 洋

大会長挨拶

徳島県歯科医師会

会長 森 秀司

四国歯学会

会長 宮本 洋二

特別講演 10:30 ~ 12:00

『健康寿命の延伸に向けて～口腔の健康と全身の健康』

演 者：堀 憲郎 先生（日本歯科医師会 会長）

座 長：笠原 信治 先生（徳島県歯科医師会 常務理事）

シンポジウム 13:30 ~ 15:00

『徳島県における歯科医療の現状と将来』

コーディネーター：中野 雅徳 先生（徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科 学科長）

来 賓：堀 憲郎 先生（日本歯科医師会 会長）

演 者：

『徳島県歯科医師会の取り組み』

森 秀司 先生（徳島県歯科医師会 会長）

『徳島大学の現状と今後の取り組み』

宮 本 洋 二 先生（徳島大学 歯学部長）

『就業歯科技工士の現状と将来』

秋 山 佳 弘 先生（徳島県歯科技工士会 会長）

『「歯科衛生士の離職防止・復職支援システムの構築」について』

河 野 美枝子 先生（徳島県歯科衛生士会 会長）

表彰式 15:00 ~

閉会式 15:05 ~

閉会の辞

徳島県歯科医師会

副会長 松本 侯

本館 8 階 第 2 会場 (2 号室) ━━━━

ポスター討論 12:30 ~ 13:00



お知らせ

ご参加される皆様へ

1. 受付は2月2日大会当日の9:30より、本館入口で行います。

2. 参加費は**無料**です。

3. 本大会は、「日本歯科医師会生涯研修事業」に該当いたします。

日本歯科医師会会員の皆様は、学会当日は「日歯生涯研修事業 IC カード」をご持参の上、受付にて参加手続きを行ってください。

4. 本大会は、「日本歯科技工士会生涯研修」に認定しています。

日本歯科技工士会会員の皆様は、学会当日は「日技生涯研修 ID カード」をご持参の上、受付にて参加手続きを行ってください。

5. 本大会は、「日本歯科衛生士会生涯研修単位」に申請しています。

日本歯科衛生士会会員の皆様は、学会当日は受付に会員カードをご提示ください。

6. 四国歯学会第56回例会は、「大学院先端口腔科学特論」の時間数に含みます。大学院生は履習手帳を持参の上、ポスター受付にて手続きを行ってください。

7. 大会の講演およびポスター発表の写真撮影ならびにビデオ撮影は禁止いたします。

8. 8階特別会議室（第3会場）にて、第1会場の様子を中継放送しております。

9. 8階特別会議室（第3会場）にて、12:00～軽食のサービスを行います。

数に限りがございますので、お早めにお越しください。

10. MARUMI DENTAL SHOW 2020は別館にて行っております。

是非この機会に足をお運びください。



ポスター発表のご案内

1. ポスターの掲示と撤去について

1) 掲示はポスター受付にて受付後、以下の時間内に所定のボードに行ってください。

令和2年2月2日（日）9:30～10:10（10:20より開会式の予定です。）

2) 展示閲覧時間は、当日の10:10～閉会式終了までの間となります。

3) 撤去は以下の時間内に行ってください。

令和2年2月2日（日）閉会式後～15:30

（15:30までに撤去されない場合、こちらで処分させていただきます。）

2. 会場

JA会館本館8F 2号室（同フロアにポスター受付を設置しております。）

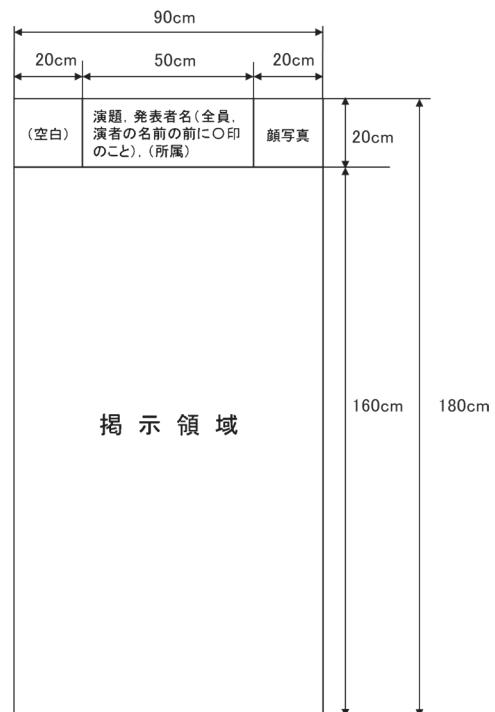
3. ポスター討論

12:30～13:00は、質疑応答の時間といたします。

発表者はポスターの前にリボンをつけて、展示資料の前に待機してください。

4. 掲示方法

- 1) 展示板に大会本部で演題番号を用意致します。
- 2) 右図の規格の範囲内で展示してください。
- 3) 展示物の貼り付けはこちらで用意した養生テープをご使用いただく予定です。
(ポスター受付時にご案内いたします)



5. 利益相反について

発表に関する利益相反 (COI) の有無や内容を記載してください。記載の形式は問いません。

例) 演題名：○○○○
発表者：○○○○
本発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。

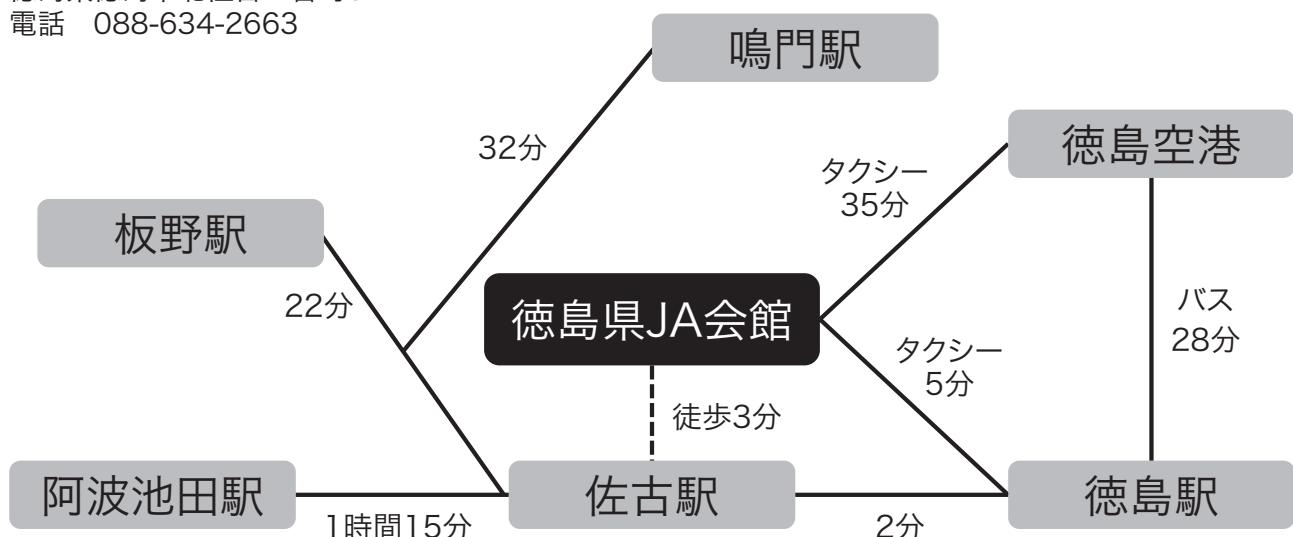
6. 審査結果の開示と表彰

※学生発表の皆様へ

1. 学生発表の中から、優秀発表を選考し表彰を行います。頑張って発表してください。
2. 表彰式は閉会式（第1会場）で行いますので、発表者は閉会式にご参加ください。

歯徳島県 JA 会館までのご案内

〒770-0011
徳島県徳島市北佐古一番町5-12
電話 088-634-2663

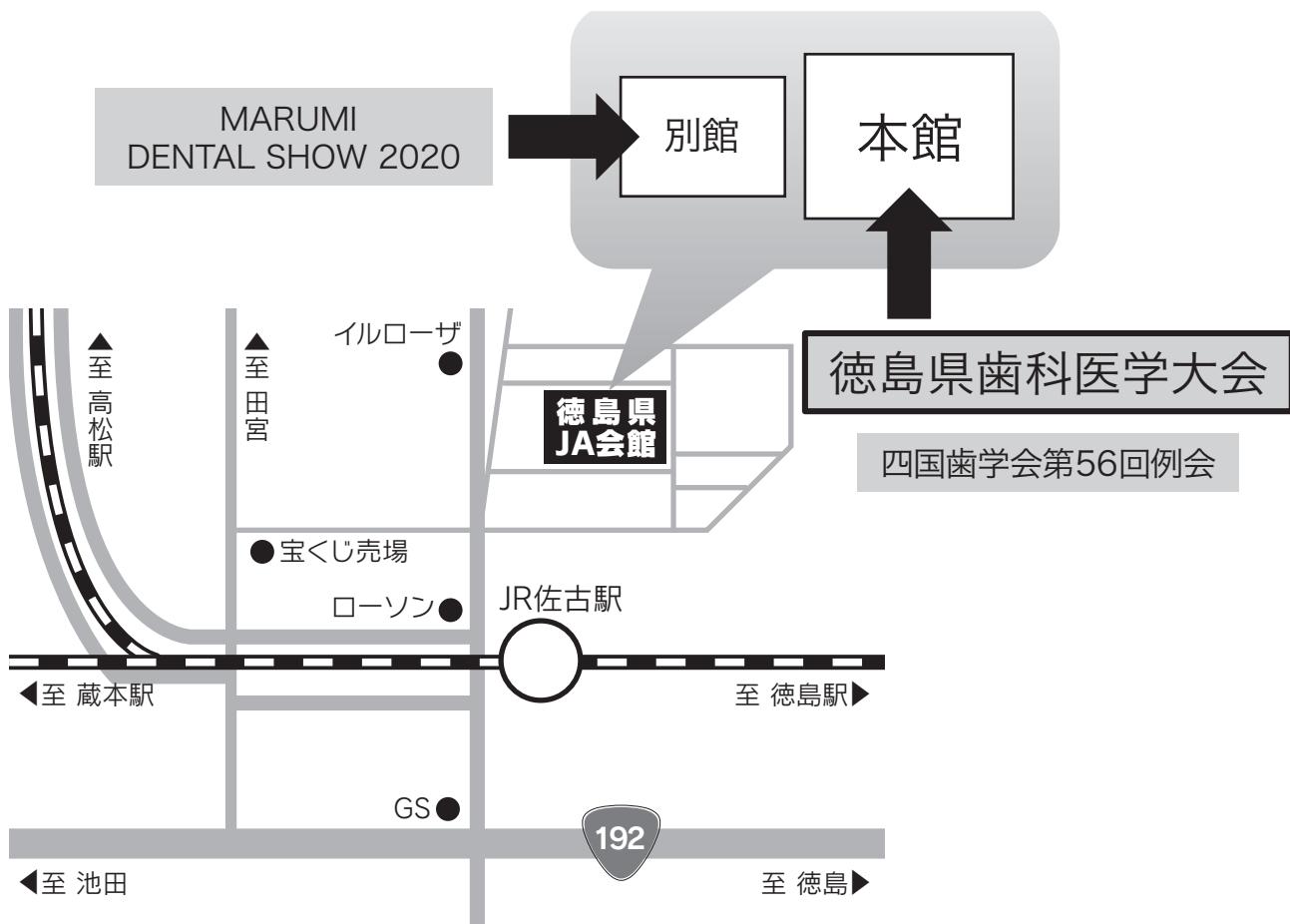


JRでお越しの方

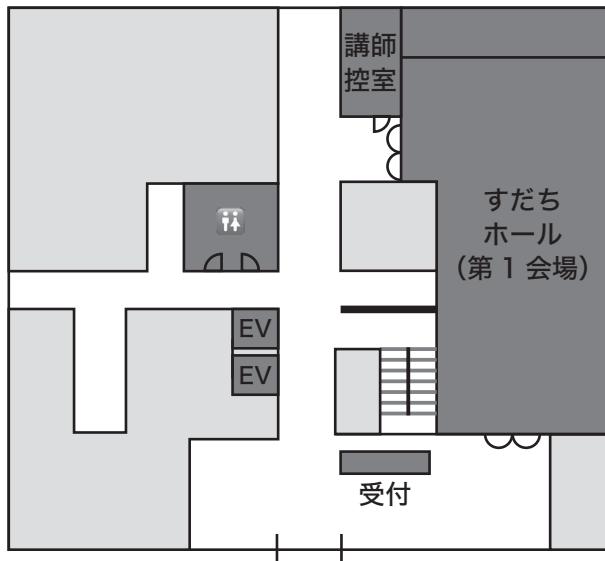
JR佐古駅より徒歩3分です。

車でお越しの方

駐車場は300台分ありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。

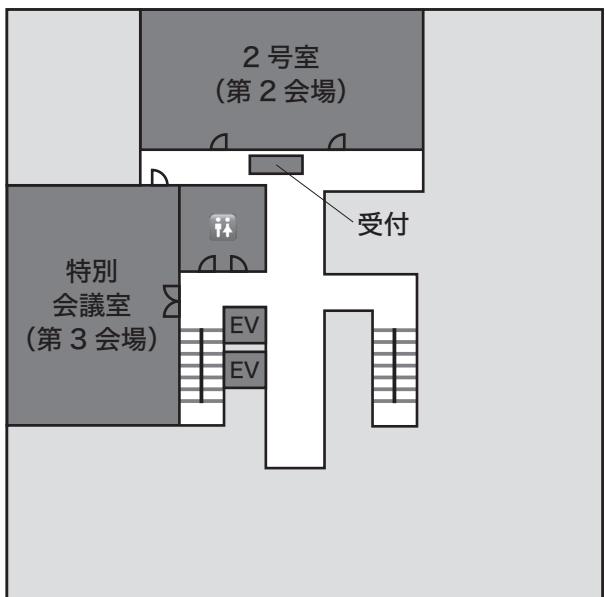


会場のご案内



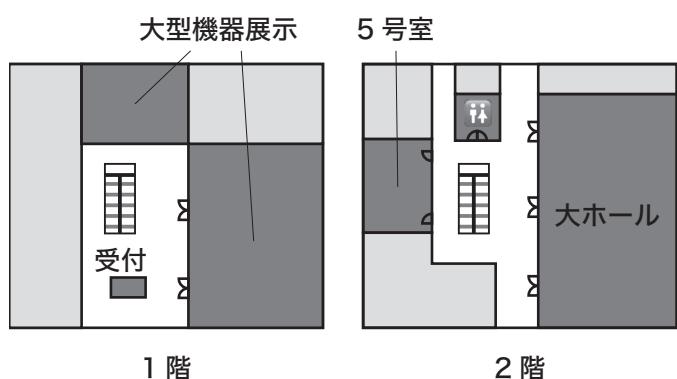
＜徳島県 JA 会館 本館 1階＞

- 受付
- すだちホール (第1会場)
 - 開会式
 - 特別講演
 - シンポジウム
 - 表彰式
 - 閉会式
- 講師控室



＜徳島県 JA 会館 本館 8階＞

- ポスター受付
- 2号室 (第2会場)
 - ポスター会場
- 特別会議室 (第3会場)
 - 中継会場
 - 休憩室
 - 軽食サービス



＜徳島県 JA 会館 別館 1、2階＞

- 1階、2階大ホール
 - MARUMI
DENTAL SHOW 2020
- 5号室
 - 研修セミナー

四国歯学会 第56回例会


四国歯学会第56回例会 ポスター発表(一般演題)

番号	演題名	発表者名	所属
P01	歯・歯周組織の形成機構の解析および再生への応用の検討	守田 剛	徳島大学・ 口腔顎顔面形態学
P02	歯髄幹細胞由来無血清培養上清を用いた 変形性顎関節症の治療法開発	小笠原直子	徳島大学・ 組織再生制御学
P03	歯髄幹細胞由来無血清培養上清を用いた口腔乾燥症の治療法開発	河原林啓太	徳島大学・ 組織再生制御学
P04	シェーブレン症候群 (SS) の発症・病態における IL-33 の重要性	佐藤 真美	徳島大学・ 口腔分子病態学
P05	口腔癌の進展に関わる新規ペリオスチンスプライシングバリエントの同定	邵 文華	徳島大学・ 口腔分子病態学
P06	口腔癌の進展における上皮-間葉移行の関与	木曾田 晓	徳島大学・ 口腔分子病態学
P07	緑膿菌における抗菌薬添加と酸化ストレスについて	村田 梨菜	徳島大学・ 口腔微生物学
P08	フルーツ味認知への嗅覚刺激の影響: 脳波周波数分析を用いた研究	前田さおり	徳島大学・ 口腔分子生理学
P09	運動が遺伝子発現に与える影響の網羅的解析	堀口 大吾	徳島大学・ 分子医化学
P10	再生歯学戦略におけるヒト口腔粘膜由来線維芽細胞の特性	三好 圭子	徳島大学・ 分子医化学
P11	唾液中マイクロ RNA のプロファイリング	水澤 典子	徳島大学・ 分子薬理学
P12	レスベラトロール投与による実験的口腔粘膜炎への効果	玉木 直文	徳島大学・ 予防歯学
P13	注入性に優れる β -TCP 基骨セメントの強度への ジルコニア微粉末添加の効果	Yeeun KIM	徳島大学・ 生体材料工学
P14	歯髄炎の病態解析と新規歯髄保護療法の開発	細川 由樹	徳島大学・ 歯科保存学
P15	歯周病ならびに歯周組織再生療法に関する臨床研究について	植村 勇太	徳島大学・ 歯周歯内治療学
P16	木管楽器の演奏に配慮してインプラント治療を行った1症例	石田 雄一	徳島大学・ 口腔顎顔面補綴学
P17	ウェイクボード世界選手権大会2018における徳島大学病院・ 徳島県歯科医師会の歯科医療活動とマウスガード使用実態の調査	鈴木 善貴	徳島大学・ 顎機能咬合再建学
P18	痛みに対するサイトカイン療法の開発に向けて	岩浅 匠真	徳島大学・ 顎機能咬合再建学
P19	補綴学授業におけるアクティブラーニングによる学修効果 -反転授業とTBLの長期比較-	葉山 莉香	徳島大学・ 顎機能咬合再建学
P20	徳島大学病院の臨床研修歯科医症例報告書から見た 研修歯科医の補綴歯科治療の現状	大川 敏永	徳島大学・ 総合診療歯科学

番号	演題名	発表者名	所属
P21	徳島大学病院における口腔管理センター・口腔内科を中心とした医科との連携	高野 栄之	徳島大学・口腔内科学
P22	新規骨補填材としての炭酸アパタイトの開発と骨再生医療への応用	工藤 景子	徳島大学・口腔外科学
P23	マイクロファイバーをポロジエンとして用いた炭酸アパタイト多孔体の開発と骨再生医療への応用	秋田 和也	徳島大学・口腔外科学
P24	徳島大学病院歯科放射線科の紹介受診システムと紹介内容の検討	水頭 英樹	徳島大学・歯科放射線学
P25	徳島大学病院歯科麻酔科における歯科局所麻酔薬アレルギー疑い患者への対応	江口 覚	徳島大学・歯科麻酔科学
P26	通電するとグラスアイオノマーセメントの接着強度は低下する	佐藤 博子	徳島大学・口腔顎顔面矯正学
P27	本院における口唇口蓋裂児への治療の取り組み	森 浩喜	徳島大学・口腔顎顔面矯正学
P28	本院小児歯科の初診患者の動向と主訴の変遷について	赤澤 友基	徳島大学・小児歯科学
P29	舌苔細菌に対する口中ケアタブレットの有効性に関するクロスオーバー試験	松村 佑季	徳島大学・口腔保健基礎学
P30	地域住民の包括的支援に資する情報共有体制の構築～オーラルフレイル予防対策を起点とした“見える化”と“つなぐ化”～	尾崎 和美	徳島大学・口腔保健支援学
P31	クラウドコンピューティングを利用した多職種経口摂取支援の体制づくりに向けて～嚥下時產生音の有用性に関する検証～	吉田 佳世	徳島大学・口腔保健支援学
P32	当大学病院口腔インプラントセンターにおける新来患者の臨床統計	友竹 健則	徳島大学病院・口腔インプラント
P33	内部構造を可視化した診断用顎骨模型の作製	鴨居 浩平	徳島大学病院・技工室
P34	口腔ケアで防ごう！	大塚 由朗	徳島県歯科医師会
P35	当診療所における創傷被覆・保護材(エピシル®口腔用液)の使用経験から見えてきた今後の課題	橋本千奈美	口腔保健センター 心身障害者歯科診療所
P36	焼成温度がジルコニアの色調及び寸法に与える影響	大山 正弘	徳島県歯科技工士会
P37	床用樹脂における補強装置と樹脂の厚みの相互関係について	三浦 義史	徳島県歯科技工士会
P38	各種分割復位式模型の分割後誤差比較	松本 和久	徳島県歯科技工士会
P39	遠心揺動バレル研磨機を使用した義歯研磨時短検証	須原 淳次	徳島県歯科技工士会
P40	一般社団法人徳島県歯科衛生士会の現状と取り組み	森本みどり	徳島県歯科衛生士会
P41	徳島県歯科医師会在宅歯科医療連携室について	竹内眞由美	徳島県歯科衛生士会

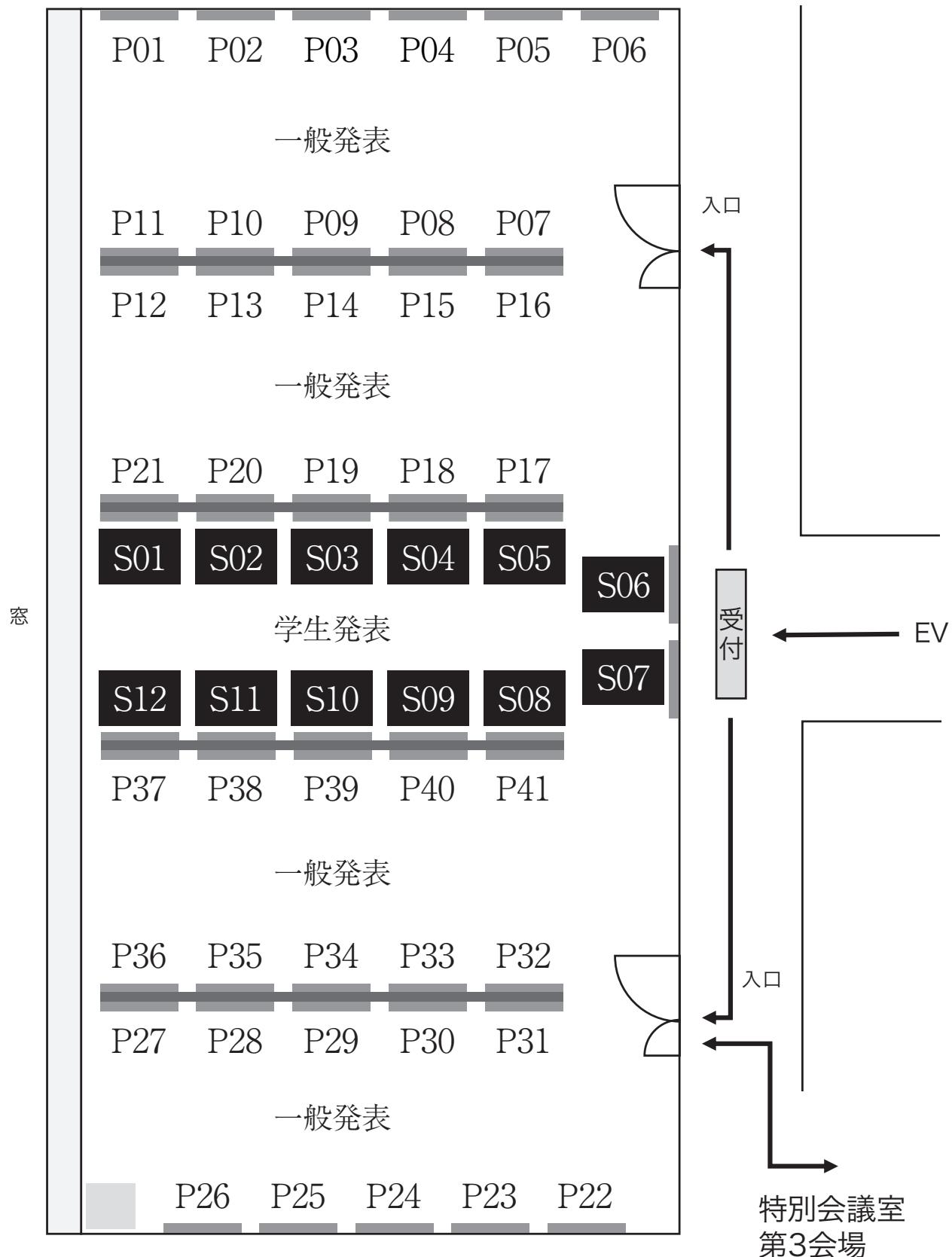

四国歯学会第 56 回例会 ポスター発表 (学生部門)

番号	演題名	発表者名	所属
S01	歯科用金属が細胞に与える影響	岡本 元太	徳島大学 歯学部
S02	矯正歯科における歯科衛生士による 口腔筋機能療法に関する臨床統計学的検討	国田 智成	徳島大学 歯学部
S03	メダカ咽頭歯における歯および歯周組織の形成遺伝子の発現	松本 晋	徳島大学 歯学部
S04	口腔分子病態学分野における免疫・癌研究	林 亜門	徳島市立高校 理数科
S05	舌ブラシの形態による舌清掃の効果と出血の比較	大川 翔平	徳島大学 歯学部
S06	緑膿菌におけるバイオフィルム形成菌の抗菌薬抵抗性について	岡本 舞	徳島市立高校 理数科
S07	歯根膜細胞における低酸素環境下でのエピジェネティクス制御の解析	熊澤 里莉	徳島大学 歯学部
S08	間葉系幹細胞由来分泌因子が Schwann 細胞の活性化に与える影響	有馬 秀貴	徳島大学 歯学部
S09	哺乳様式と不正咬合との関連性についての検討	奥住 千聰	徳島大学 歯学部
S10	歯髄幹細胞由来無血清培養上清を用いた脊髄損傷の治療法開発	後藤秀一郎	徳島大学 歯学部
S11	唾液マイクロ RNA の機能解析	橋本 真舞	徳島大学 歯学部
S12	マイクロ RNA の細胞増殖への影響	村田菜々香	徳島大学 歯学部

●この学生発表は表彰対象となります。



ポスター掲示案内 (8階 2号室、第2会場)



P01

歯・歯周組織の形成機構の解析および再生への応用の検討

○守田 剛、神尾 強司、角田 佳折、馬場 麻人
徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面形態学分野

ヒトの歯は歯冠と歯根に区別することができるが、その構造は系統発生学的には特殊な形態である。例えば、魚類などでは歯根様構造を持たず、歯足骨という硬組織が存在する。このことから、哺乳類に見られる歯根は後天的に獲得されたと考えられる。また、象牙質の歯冠部と歯根部では、物理的特性や生化学的組成が異なることが報告されており、歯冠と歯根の形成調節機構の変化、あるいは修復象牙質形成時の調節などを解析し、歯根および歯周組織の再生へと応用を検討している。

P02

歯髄幹細胞由来無血清培養上清を用いた変形性顎関節症の治療法開発

○小笠原直子^{1,2}、加納 史也²、橋本 登²、LIU YAO¹、森 浩喜³、寺町 順平²、
岩本 勉³、田中 栄二¹、山本 朗仁²

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野、

²徳島大学大学院医歯薬学研究部組織再生制御学分野、³徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野

変形性顎関節症（TMJOA）は、進行性の軟骨変性と異常な骨リモデリング、慢性疼痛を特徴とする変性疾患である。現在は疼痛や炎症制御による対処療法が主流であり、関節軟骨や骨組織の再生を促す新しい治療法の開発が望まれている。我々はヒト歯髄幹細胞無血清培養上清（SHED-CM）が抗炎症、組織再生能力を有することを報告してきた。本研究では、強制大開口によるマウス TMJOA モデルに SHED-CM を静脈投与し、治療有用性の評価と治癒メカニズムの解明を目指した。

P03

歯髄幹細胞由来無血清培養上清を用いた口腔乾燥症の治療法開発

○河原林啓太¹、加納 史也³、橋本 登³、寺町 順平³、青田 桂子²、
東 雅之²、岩本 勉¹、山本 朗仁³

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔内科学、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部組織再生制御学

頭頸部がんに対する放射線治療は、口腔、顎骨、唾液腺が照射野に含まれることがあり、有害事象として口腔乾燥症を生じる。長期にわたり唾液分泌量は低下する。重度では経口摂取困難となり、QOL が著しく低下する。現在の主な治療は保湿などの対処療法のみであり、効果は限定的であるため、唾液腺の再生を促す新しい治療法の開発が望まれている。我々はヒト歯髄幹細胞無血清培養上清（SHED-CM）が抗炎症、組織再生能力を有することを報告してきた。本研究では、マウス放射線性口腔乾燥モデルに SHED-CM を静脈投与し、治療有用性の評価と治癒メカニズムの解明を目指した。

P04

シェーグレン症候群 (SS) の 発症・病態における IL-33 の重要性

○佐藤 真美、牛尾 紗、常松 貴明、新垣理恵子、工藤 保誠、石丸 直澄

徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野

IL-33は、受容体のST2を介して免疫細胞を活性化する。今回、SSの標的臓器である唾液腺におけるIL-33の発現時期や産生細胞を検討した。まず、SS患者および疾患モデルマウスの唾液腺でIL-33およびST2の発現と、IL-33の発現細胞を確認した。また、ST2受容体を発現する2型自然リンパ球(ILC2)に注目したところ、SSモデルの唾液腺組織ではILC2が有意に増加していた。さらに、SSモデルへのST2-Fc投与では、唾液腺病変を改善することが確認された。

P05

口腔癌の進展に関わる 新規ペリオスチンスプライシングバリエントの同定

○邵 文華¹、常松 貴明¹、梅田 将旭²、木曾田 晓¹、新垣理恵子¹、
工藤 保誠¹、石丸 直澄¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野、²シバタ歯科（愛知県）

We previously identified periostin (POSTN) as an invasion promoting factor in Head and neck squamous cell carcinoma (HNSCC). It is known that POSTN has 11 splicing variants, but the role of them has not been determined in HNSCC. Here we identified novel POSTN isoform 5 (lacking exon 17) as a promoting invasion factor by both *in vitro* and *in vitro* analyses. We suggest that a POSTN isoform 5 can be a novel prognostic marker for HNSCC.

P06

口腔癌の進展における上皮－間葉移行の関与

○木曾田 晓、邵 文華、常松 貴明、新垣理恵子、工藤 保誠、石丸 直澄

徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野

Partial-EMT (p-EMT) は、上皮間葉移行が誘導される途中の段階を示し、癌の浸潤・転移や治療抵抗性への関与が示唆されている。最近、頭頸部扁平上皮癌 (HNSCC) 細胞の1細胞解析から、p-EMTに関連する遺伝子群が同定された。我々は、TCGAに登録されたHNSCCのRNA-seqデータを用いてp-EMT関連遺伝子の発現を解析し、予後との関連を検討した。その結果、SERPINE1などのp-EMT関連遺伝子が、発現量と予後不良に関与することが明らかとなり、悪性度診断に応用できることが示唆された。

緑膿菌における抗菌薬添加と酸化ストレスについて

○村田 梨菜^{1,2}、Muhammad Reza Pahlevi²、村上 圭史²、
廣島 佑香²、片岡 佳子¹、藤猪 英樹²

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物・遺伝子解析学分野、

²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔微生物学分野

我々は、緑膿菌において、抗菌薬存在下では増殖しないものの、死滅しない現象である、抗菌薬抵抗性に注目してきた。今回、抗菌薬抵抗性メカニズムの解明を目的として、酸化ストレスに着目した。

緑膿菌において、ビアペネムを添加したところ、菌体内に H_2O_2 が発生したことが確認された。また、電子スピン共鳴法で解析を行ったところ、活性酸素種 (ROS) の発生が認められた。

これらの結果から、抗菌薬添加により ROS が発生し、抗菌薬抵抗性に関連している可能性が示された。

フルーツ味認知への嗅覚刺激の影響： 脳波周波数分析を用いた研究

○前田さおり^{1,2}、吉村 弘¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子生理学分野、²梅花女子大学看護保健部口腔保健学科

食物が持つ匂いと味の組み合わせは経験により獲得されるが、それらが一致しなかった場合、脳内情報処理過程に影響が出ると考えられる。そこで、フルーツ味に対する嗅覚刺激の影響を、主観的味覚スコアと脳波出現様式を指標に調べたところ、6 Hz 近傍においては正の相関、10Hz 近傍においては負の相関を認めた。フルーツ味認知に関する嗅覚刺激の影響については、約 6 Hz から 10Hz の範囲の脳活動が関与していることが示唆された。

運動が遺伝子発現に与える影響の網羅的解析

○堀口 大吾、三好 圭子、萩田 浩子、野間 隆文

徳島大学大学院医歯薬学研究部分子医化学分野

健康を維持する上で、適度な運動は不可欠であり、運動能力の維持は咬合能力など口腔の健康にも重要である。しかし、運動がどのように健康に影響を与えるのか、その分子メカニズムは十分に理解されているとはいえない。本研究では、運動能が亢進している変異体ラット (SPORTS ラット) を用いて、長期に渡る自発的な運動が遺伝子発現にどのような影響を与えるのか検討した。その結果、SPORTS ラットの骨格筋では、グルコース代謝関連遺伝子群の発現亢進や、筋線維の再構成が示され、運動がダイナミックな代謝変動を通じて健康に影響を与える可能性が示唆された。

P10

再生歯学戦略におけるヒト口腔粘膜由来線維芽細胞の特性

○三好 圭子、堀口 大吾、萩田 浩子、野間 隆文

徳島大学大学院医歯薬学研究部分子医化学分野

再生歯学における細胞源の一つとして、私たちは創傷治癒が早く、瘢痕も残らない口腔粘膜に着目している。そこで、口腔粘膜組織の構成細胞のうち、特に口腔粘膜線維芽細胞 (hOFs) の特性を解明するため、hOFs と皮膚線維芽細胞 (hDFs)、および hOFs から作製した induced pluripotent stem cells (iPS 細胞) を用いて、網羅的遺伝子発現の比較分析を行った。その結果、hOFs は環境刺激に対する高い応答性や可塑性が示され、再生歯学戦略における hOFs の有用性が示唆された。

P11

唾液中マイクロ RNA のプロファイリング

○水澤 典子¹、岩脇 有軌²、吉本 勝彦¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部分子薬理学分野、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野

マイクロ RNA (miRNA) は、タンパク質に翻訳されない22塩基程度の短い RNA で、現在ヒトで2000種類以上知られている。miRNA は細胞内で発現し、エクソソームなどの小胞やタンパク質と結合して細胞外に分泌されることから、癌などで変動する血中 miRNA は、疾患バイオマーカーとしての利用が期待されている。我々は、唾液中にも miRNA が安定して存在することを確認し、マイクロアレイ解析を行ったので報告する。

P12

レスベラトロール投与による実験的口腔粘膜炎への効果

○玉木 直文¹、陳 舒¹、工藤 保誠²、三木かなめ¹、石丸 直澄²、伊藤 博夫¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部予防歯学分野、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野

抗癌剤の副作用として口腔粘膜炎の発症が知られているが、その有効的な予防法はほとんどない。本研究は、レスベラトロールの抗酸化・抗炎症作用による口腔粘膜炎への効果を検討した。抗癌剤である 5-フルオロウラシル投与によって実験的な口腔粘膜炎モデルを動物実験と細胞培養において作成し、レスベラトロールの効果を検討した。その結果、酸化ストレスと炎症の改善が確認され、口腔粘膜炎の治癒も促進されることが示された。

P13

注入性に優れる β -TCP 基骨セメントの強度へのジルコニア微粉末添加の効果

○ Yeeun KIM¹、Jiyoung BAE¹、伊田百美香^{1,3}、関根 一光¹、河野 文昭²、濱田 賢一¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部生体材料工学分野、

²徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療歯科学分野、³現 徳島大学大学院医歯薬学研究部歯科保存学分野

リン酸カルシウム基骨セメントは、注入性と硬化体強度を両立することが困難である。我々は、ボールミーリング法で微粉化すると、 β 型三リン酸カルシウム（ β -TCP）基試作骨セメントが、優れた注入性と高い硬化体強度を同時に示すことを見出した。本研究では、 β -TCP 基試作骨セメントにジルコニア微粉末を添加した際の硬化体強度の変化を調べた。その結果、ジルコニア添加によって圧縮強度、間接引張強度ともに増加した。

P14

歯髓炎の病態解析と新規歯髓保護療法の開発

○細川 由樹¹、平尾 功治¹、武川 大輔¹、藏本 瞳¹、湯本 浩通²、中西 正¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部歯科保存学分野、²徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野

う蝕による細菌感染等に起因する不可逆性歯髓炎に対し、一般的には抜髓処置が行われるが、無髓歯の予後は有髓歯と比較して悪い。このため、歯髓炎の病態や発症のメカニズムを解明し、新規の歯髓炎の治療や歯髓温存療法を開発することは、歯の保存に極めて重要である。ポリフェノール類の一種であるカテキンには抗炎症作用があることが報告されており、本研究はカテキンの有する抗炎症作用が歯髓保存療法にも有効である可能性を示すものである。

P15

歯周病ならびに歯周組織再生療法に関する臨床研究について

○植村 勇太、二宮 雅美、和田 明大、木戸 理恵、高木 亮輔、野中 康平、谷口 裕哉

生田 貴久、坂本英次郎、板東 美香、稻垣 裕司、成石 浩司、木戸 淳一、湯本 浩通

徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野

当分野では現在、歯周治療ならびに歯内療法に関する臨床研究として、「リグロスと各種骨補填材による併用療法の有効性の検討」と「根尖病変に対する高周波通電の治癒促進効果の検討」を行っている。さらに、日本歯周病学会主導による日本人を対象とした「侵襲性歯周炎患者のデータベース構築」ならびに「侵襲性歯周炎患者の全ゲノム解読と遺伝子多型解析」に関する臨床研究も実施している。今回、これらの研究の概要と症例の一部を紹介する。

木管楽器の演奏に配慮してインプラント治療を行った1症例

○石田 雄一、南 憲一、岩脇 有軌、渡邊 恵、市川 哲雄

徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎面補綴学分野

インプラント治療を希望する患者の主訴の多くは咀嚼能力および審美性の回復であるが、インプラント治療の普及とともに、主訴の多様化も生じている。

今回、咀嚼や審美性には全く問題ないがフルートの演奏ができないと訴える患者に対して即時負荷インプラント治療を行い、暫間上部構造の評価と形態修正を繰り返すことで、良好な治療経過とフルート演奏に適した最終上部構造を提供できた症例を報告する。

ウェイクボード世界選手権大会2018における徳島大学病院・徳島県歯科医師会の歯科医療活動とマウスガード使用実態の調査

○鈴木 善貴¹、大倉 一夫¹、秋月 皆人¹、吉原 靖智¹、秋田 和也²、安達 聰³、

田岡 計久³、笠原 信治³、森 秀司³、宮本 洋二²、松香 芳三¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野、

²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔外科学分野、³徳島県歯科医師会

ウェイクボード世界選手権大会2018における歯科医療活動と参加選手のマウスガード（MG）使用実態の調査を実施した。①全日程で歯科医師が常駐したが、本大会での受診者は0名であった。②歯科医師会ブースにてMGによる外傷予防の啓蒙活動を行い、多く訪問者があった。③参加選手のうち46名からMG使用実態に関するアンケートの回答が得られ、顎顔面領域の受傷や脳震盪の経験ある者は約40%に認められた。20歳以上あるいは経験年数5年以上の者は受傷経験率が高く、一方でMG使用率はそれ以外の者よりも低かった。

痛みに対するサイトカイン療法の開発に向けて

○岩浅 匠真¹、Shaista Afroz¹、井上 美穂¹、新垣理恵子³、大島 正充¹、Resmi Raju¹、

Arief Waskitho¹、井上 正久⁴、馬場 麻人²、松香 芳三¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎面形態学分野、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野、⁴徳島文理大学薬学部機能形態学研究室

目的) 痛みの治療は歯科では重要であり、我々は新規治療法の開発を目指している。今回は口腔顎面痛に対するサイトカインの効果を調査した。方法) SD系雄性ラットの三叉神経の枝を結紮し、口腔顎面痛モデルを作製した。三叉神経節内のサイトカインレベルを計測し、結紮初期に上昇した炎症性サイトカイン CXCL2 の拮抗薬、後期に上昇した抗炎症性サイトカイン IL10 の作動薬を口腔顎面痛モデルラット三叉神経節内へ投与した。結果) 抗 CXCL2 、 rIL-10 を投与すると数日間、痛み行動が軽減した。結論) 三叉神経節内のサイトカインをコントロールすることは痛みの抑制に対して効果的であることが示唆された。

P19

補綴学授業におけるアクティブラーニングによる学修効果 -反転授業とTBLの長期比較-

○葉山 莉香、大倉 一夫、大島 正充、細木 真紀、鈴木 善貴、宮城 麻友、井上 美穂、
Rodis Omar Marianito、岩浅 匠真、松香 芳三
徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野

目的) 二種類のアクティブラーニング(学生が自ら学習する)における学修効果を期末試験の正答率を用いて比較検討した。方法) 2014年度から2017年度までの補綴学Ⅱの授業を受けた歯学部学生(計289名)に対し、国家試験様式の多肢選択問題を採用した期末試験を行い、成績を反転授業(事前学習後に質疑応答授業)とTBL授業(事前学習後にグループ討議)の範囲に分け、それぞれの平均正答率を比較した。結果) 反転授業とTBL授業との間に有意差はなく、従来の授業よりも良い結果であった。結論) アクティブラーニングは効果的な学修法であることが示された。

P20

徳島大学病院の臨床研修歯科医症例報告書から見た 研修歯科医の補綴歯科治療の現状

○大川 敏永¹、岡 謙次²、安陪 晋¹、美原 智恵¹、松田 岳¹、
村上 愛由²、宮城 茜²、河野 文昭^{1,2}

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部総合診療歯科学分野、²徳島大学病院総合歯科診療部

平成18年の歯科医師臨床研修制度の必修化以来、当科では充実した研修を目指してきた。今回、研修歯科医症例報告書に記載されたキーワードを抽出し、補綴治療の割合がどのように推移したかについて検討を加えた。

患者層は高齢者が多く、可撤性義歯および全身疾患に関するキーワードが多かった。年次変化に傾向は認められなかった。これらのことから、高齢患者の社会的背景や全身状態を考慮し、一口腔単位で診療を行っていると推察される。

P21

徳島大学病院における口腔管理センター・ 口腔内科を中心とした医科との連携

○高野 栄之¹、小野 信二¹、松本 文博²、桃田 幸弘²、青田 桂子²、山ノ井朋子²、
金川 裕子¹、中原 崇道²、西窪 美波²、東 雅之^{1,2}

¹徳島大学病院口腔管理センター、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔内科学分野

口腔管理センターは入院患者に対する周術期等の口腔ケアを主に行っている。また、ICUやHCU、SCUの全身状態が不安定な患者の口腔ケアは口腔内科が担当している。その他の活動として、口腔管理センターではNSTカンファレンス・回診やSCUカンファレンス、摂食嚥下カンファレンスなどに参加しており、口腔内科ではBP関連外来を設置している。これらの医科との密接な連携について報告する。

新規骨補填材としての炭酸アパタイトの開発と骨再生医療への応用

○工藤 景子、秋田 和也、福田 直志、工藤 隆治、栗尾 奈愛、大江 剛、真野 隆充、宮本 洋二
徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔外科学分野

私たちは九州大学との共同研究で生体骨の主成分である炭酸アパタイト (carbonate apatite; CAP) の人工合成に世界で初めて成功した。CAP は、生体内での反応性が高く、生体内で吸収され、骨に置換する。この CAP 顆粒はインプラント埋入を前提とした骨増生術への適応が認められた日本では初めての骨補填材で、2018年2月より株式会社ジーシー社からサイトランス グラニュール®として市販されている。

今回は、開発の経緯および現在進行している骨再生医療への応用に向けた取り組みについてその概要を発表する。

マイクロファイバーをポロジエンとして用いた炭酸アパタイト多孔体の開発と骨再生医療への応用

○秋田 和也、福田 直志、工藤 景子、真野 隆充、宮本 洋二
徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔外科学分野

我々は生体内で吸収されて、骨に置換する炭酸アパタイト (carbonate apatite; CAP) の人工合成に世界で初めて成功した。この CAP 顆粒は国内初のインプラント治療に適応のある新規骨補填材として市販されている。しかしこの顆粒は緻密体であるため、さらなる骨形成の促進を目指し、改良を行っている。

そこで今回、マイクロファイバーをポロジエンとして用いて種々の気孔径を有する CAP 多孔体を開発し、骨再生医療への応用に向けた取り組みについて報告する。

徳島大学病院歯科放射線科の紹介受診システムと紹介内容の検討

○水頭 英樹、細木 秀彦、吉原 穂積、前田 直樹、吉田みどり、誉田 栄一
徳島大学大学院医歯薬学研究部歯科放射線学分野

徳島大学病院歯科放射線科では院内各科からの紹介だけでなく、一般歯科医院から矯正治療・インプラント治療のための検査依頼を受けて画像検査を行っている。そこで2009年10月から2019年9月までの10年間に院外から画像検査目的で当科に紹介された検査依頼内容の検討を行った。検査依頼は全1537件で、その内訳は CT撮影（歯科用670件、医科用109件）、セファロ撮影458件であった。

また、当科への画像検査紹介方法に関する紹介する。

徳島大学病院歯科麻酔科における 歯科局所麻酔薬アレルギー疑い患者への対応

○江口 覚¹、大塚 良²、藤原 茂樹²、高石 和美²、北畠 洋¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部歯科麻酔科学分野、²徳島大学病院歯科麻酔科

歯科治療時の全身的偶発症は、局所麻酔時の発症が半数以上であり、血管迷走神経反射が最も多い。薬物アレルギーは数%であり、なかでも局所麻酔薬が原因となることは極めて稀である。しかし、発症時にチエーサイドでの鑑別診断は困難であることが多く、重篤なアナフィラキシーであれば、迅速な対応が必要となる。歯科局所麻酔時に異常な反応を示し、局所麻酔薬アレルギーが疑われた患者に対する当科での対応を紹介する。

通電するとグラスアイオノマーセメントの 接着強度は低下する

○佐藤 博子^{1,4}、松木 佑太^{1,4}、梶本 昇²、武川 恵美³、堀内 信也⁴、

閑根 一光³、田中 栄二⁴、浜田 賢一³

¹徳島大学口腔科学教育部口腔科学専攻口腔顎顔面矯正学分野、

²福岡歯科大学歯科医療工学講座生体工学分野、³徳島大学大学院医歯薬学研究部生体材料工学分野、

⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野

補綴修復物や矯正装置の除去など歯科臨床の接着においては、強固な接着力を発揮すると同時に、必要な場合には弱い力で容易に除去することができる歯科用セメントが求められている。

本研究ではレジン添加型グラスアイオノマーセメントで接着したチタン棒を水中に浸漬した後、試料に電気を流し、剪断接着強度試験を行ったところ、接着強度が有意に低下した。このことからセメントに電気伝導性を持たせることで接着力をコントロールできる可能性が示唆された。

本院における口唇口蓋裂児への治療の取り組み

○森 浩喜^{1,2}、岩本 勉¹、斎藤 早紀³、上田 公子¹、高石 和美⁴、山村 佳子⁵、

日浅 雅博²、堀内 信也²、田中 栄二²

徳島大学病院 ¹小児歯科、²矯正歯科、³医療技術部、⁴歯科麻酔科、⁵口腔外科

口唇口蓋裂は、口唇・顎・口蓋の披裂を特徴とする先天疾患で、日本人の発生率は約550名に1人と言われています。口唇口蓋裂の治療は、出生直後から成人まで長期に亘ることが多く、専門的な知識と技術に基づく包括的な診断・治療が求められます。当院では、複数の診療科、複数の職種の専門家による充実した医療サービスを提供するため、2019年4月に口唇口蓋裂センターを開設しました。当センターにおいて行われている口唇口蓋裂の患者に対するチーム医療を紹介いたします。

本院小児歯科の初診患者の動向と主訴の変遷について

○赤澤 友基¹、岩田こころ²、黒厚子璃佳²、河原林啓太²、宮寄 彩²、藤島 史帆¹、
森 浩喜¹、杉本明日菜³、北村 尚正³、上田 公子¹、中川 弘¹、長谷川智一³、岩本 勉^{1,3}
¹徳島大学病院小児歯科、²徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学専攻、
³徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野

本院小児歯科は、昭和57年4月に当時の歯学部附属病院の第10番目の診療科として開設され、現在は本学大学病院小児歯科として、37年目を迎えました。この間、社会は大きく変化し、家族構成を含めた子供たちを取り巻く環境も劇的に変化してきました。開設当時は齶蝕が主訴の中心でしたが、現在は口腔機能に関する相談も増えてきており、主訴が多様化しています。地域の中核を担う小児歯科として、今後も地域や患者のニーズに応えていきたいと思います。

舌苔細菌に対する口中ケアタブレットの有効性に関するクロスオーバー試験

○松村 佑季^{1,2}、日野出大輔¹、福井 誠¹、坂本 治美¹、
吉岡 昌美³、朝熊 弘樹⁴、滝井 寛⁴
¹徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健衛生学分野、²徳島歯科学院専門学校歯科衛生士科、
³徳島文理大学保健福祉学部口腔保健学科、⁴江崎グリコ株式会社健康科学研究所

本研究では、キウイフルーツ粉末含有口中ケアタブレット摂取による舌苔細菌への効果をクロスオーバー試験にて調べた。介入試験Ⅰでは、舌清掃、介入試験Ⅱではタブレット摂取、介入試験Ⅲでは、試験前日の摂取を指示し、各試験前後で口臭および細菌数の測定を行った。

細菌数および揮発性硫黄化合物量はすべての試験前後において有意に減少した。さらに舌清掃と比較して、口中ケアタブレット摂取では細菌数が有意に減少したことから、その有効性が示唆された。

地域住民の包括的支援に資する情報共有体制の構築 ～オーラルフレイル予防対策を起点とした“見える化”と“つなぐ化”～

○尾崎 和美¹、瀬山真莉子¹、吉田 佳世²、竹内 祐子³、柳沢志津子⁴、松山 美和⁵
¹徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健支援学分野、²徳島大学大学院口腔科学教育部口腔保健学専攻、
³徳島大学大学院医歯薬学研究部地域医療福祉学分野、⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健福祉学分野、
⁵徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能管理学分野

本学歯学部作成の口腔体操プログラムが、県内の“通いの場”で行われている筋力運動等の集団体操に組み込まれ、その普及とともに口腔体操の効果を検証する活動が開始される。“通いの場”で発せられる情報が、体操不参加者や（オーラル）フレイル予備軍の抽出と専門職による各種の支援につながると考えられる。本発表では、効果測定のデータをはじめ各場面で発生する情報の集約と専門職による支援に資するクラウド型ICTシステムを紹介する。

P31

クラウドコンピューティングを利用した多職種経口摂取支援の体制づくりに向けて～嚥下時產生音の有用性に関する検証～

○吉田 佳世¹、尾崎 和美²、瀬山真莉子²、竹内 祐子³、柳沢志津子⁴、松山 美和⁵

¹徳島大学大学院口腔科学教育部口腔保健学専攻、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健支援学分野、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部地域医療福祉学分野、⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健福祉学分野、

⁵徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能管理学分野

口腔機能低下を来たした高齢者への経口摂取支援、とくにクラウドコンピューティングを利用して遠隔多地点の専門職が支援する体制の構築を目指し、独自の録音・録画環境で高齢者群と若年者群から取得した嚥下時產生音を解析し、嚥下障害のスクリーニングとしての有用性を検討した。音声データのうち高音圧を示す複数の特徴点間の時間を解析したところ、嚥下関連器官の加齢変化を反映する有意な群間差を示すなど、その有用性が示された。

P32

当大学病院口腔インプラントセンターにおける新来患者の臨床統計

○友竹 健則¹、川野 弘道¹、西川 泰史¹、市川 哲雄^{1,2}

¹徳島大学病院口腔インプラントセンター、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野

当大学病院では2014年4月に口腔インプラントセンターが開設された。それまで関連各科で行われてきたインプラント治療を一括管理するために、当センターでの術前診察と受診登録によって患者管理を行っている。今回、開設後5年間における当センターで登録された新来患者について調査したので報告する。

P33

内部構造を可視化した診断用顎骨模型の作製

○鴨居 浩平、山本 諒平、津村 希望、大山 正弘、藤本 直樹、山田 幸夫、富永 賢

徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室

近年、3次元プリンターの普及により、顎骨模型を作製することで、術前の診断や手術のシミュレーション、患者説明などに役立っている。しかしながら本院で作製している顎骨模型は石膏によるもので、顎骨表面の観察はできるものの、内部構造に関しては依然、医用画像による確認作業が必須となっている。そこで今回、顎骨模型の一部を透明のレジンに置換することで、内部構造を可視化した模型を作製したので報告する。

口腔ケアで防ごう！

○大塚 由朗、森 秀司、安田 勝裕、柴田 亨、藤谷 太郎、
楳 大、齋賀 明彦、岡本 好史、阿部 昭人
徳島県歯科医師会

徳島県では南海トラフ巨大地震等、大規模災害に対する対策が喫緊の課題となっています。1995年兵庫県南部地震発生直前における30年以内の確率は0.02%～8%でした。つまり発生確率は1つの目安であり、いつ発生するか分からない自然災害に私たちは平時より様々な対策を講じるという事が重要となっています。徳島県歯科医師会は被災者支援として、歯科治療、遺体検査、そして口腔ケアによる被災者の誤嚥性肺炎等の予防をあげています。

当診療所における創傷被覆・保護材（エピシル®口腔用液）の使用経験から見えてきた今後の課題

○橋本千奈美¹、多田 紀子¹、石川ひさ子¹、上田 美佳¹、三宅 秀則²、森 秀司³

¹徳島県歯科医師会口腔保健センター心身障害者歯科診療所、²徳島市民病院、³徳島県歯科医師会

口腔粘膜炎はがん治療で頻発する有害事象である。粘膜炎による強い疼痛はQOLの低下、摂食困難による栄養状態や病態の悪化、治療完遂の妨げとなるため、疼痛の管理が重要となる。口腔粘膜炎の創部を保護し、疼痛を緩和する医療材料「エピシル®口腔用液」が2018年4月から保険適用された。しかし、本邦で本材料の効果についての報告は少ない。当診療所では周術期口腔機能管理中の患者に対し本材を採用しており、その使用経験に若干の考察を加え報告する。

焼成温度がジルコニアの色調及び寸法に与える影響

○大山 正弘^{1,2}、清水 裕次²、山本 諒平^{1,2}、津村 希望^{1,2}、鴨居 浩平^{1,2}、
藤本 直樹^{1,2}、山田 幸夫^{1,2}、富永 賢^{1,2}

¹一般社団法人 徳島県歯科技工士会、²徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室

近年のデジタルデンティストリーにおけるCAD/CAM技術の発達にはめざましいものがあり、様々な用途に応用されている。このCAD/CAMシステムによる新規生体材料の中で、ジルコニアは生体親和性や色調再現に優れ、金属に代わる材料として期待されており、今後益々使用頻度が高まると予想される。

今回、ジルコニアのシンタリングスケジュールの中で、最終焼成温度をメーカー指定の数値から変化させた場合、色調や透過度、また寸法変化にどのような影響を及ぼすか実験し、比較検討を行ったので報告する。

床用樹脂における補強装置と樹脂の厚みの相互関係について

○三浦 義史

一般社団法人 徳島県歯科技工士会

既成のステンレス鋼補強線や既成のバー用ワックスを鋳造した床内バーを使用している。また、床自体の厚みを多くとる事で対応しているが、それには限界がある。

本研究では保険義歯において使用頻度が高い加熱重合レジン、熱可塑性レジンの2種類の床用樹脂において補強線、鋳造補強装置を配置する事により強度がどのように変化するか、そして補強装置を内包している樹脂と同等の強度を得るためにどの程度樹脂を厚くする必要があるかについて、3点曲げ試験を行い比較検証した。

各種分割復位式模型の分割後誤差比較

○松本 和久

一般社団法人 徳島県歯科技工士会

クラウンブリッジの模型製作は、従来法であるダウエルピンを植立する分割復位式模型（以下、ピン立て模型）が一般的である。近年は歯列模型を、販売されている貼付型模型に接着材で固定する貼付型模型法（以下、貼り模型）が臨床で多く見られる。

今回、ピン立て模型及び各種貼り模型の歯列模型分割前と分割後の状態を計測し、歯科用スキャナーを用いてスキャニングを行った。各データをブーリアン演算にて誤差の比較を行い評価した。

遠心揺動バレル研磨機を使用した義歯研磨時短検証

○須原 淳次

一般社団法人 徳島県歯科技工士会

士の高齢化や歯科技士養成学校の入学者の激減により、歯科技工士不足が懸念される。またデジタル化によるCAD/CAMシステムにおいては、ジルコニアやハイブリットレジンを使用した歯冠修復物の発展は目覚ましいものがあるが、義歯においてはまだまで金額的にも購入は難しい。

当社では働き方改革の一環として各作業工程見直しや機械化を行っており、今回1つの事例として、義歯研磨の工程で遠心揺動バレル研磨機を使用し時短検証を行ったので報告する。

一般社団法人徳島県歯科衛生士会の現状と取り組み

○森本みどり、竹内真由美、酒井 みね、石井 容子、樋原 里佳、橋本千奈美、
松家 恭子、宮川 章代、森 重代、今川真由美、河野美枝子
一般社団法人 徳島県歯科衛生士会

徳島県歯科衛生士会は1966年に設立し、2000年には公益社団法人徳島県歯科衛生士会となり2013年に一般社団法人徳島県歯科衛生士会（以下本会）設立、2016年（平成28年）には創立50周年記念式典を開催した。本会は総務部、学術部（研修会）地域歯科保健部（健口フェアイベント他、受託協力業務）広報部（季刊紙会誌発行、HP更新）で組織し活動している。また日本歯科衛生士会においては各都道府県会の目標会員数を設定し会員増に取り組んでいる。今回、各部の活動報告とともに会員増に向けての本会の取り組みについても発表したいと考える。

徳島県歯科医師会在宅歯科医療連携室について

○竹内真由美^{1,5}、今川真由美^{1,5}、石井 容子^{1,5}、河野美枝子^{1,5}、伊井由美子^{2,5}、
佐藤 富子^{2,5}、武田 美輪^{3,5}、山口 貴功⁴、笠原 信治⁴、飛梅 悟⁴、森 秀司⁴
¹在宅歯科医療連携室東部、²在宅歯科医療連携室西部、³在宅歯科医療連携室南部、
⁴徳島県歯科医師会、⁵徳島県歯科衛生士会

徳島県歯科医師会では、2011年4月から県の委託を受け、県歯科医師会館内に東部連携室を設置した。在宅・病院・施設等で寝たきりや病気療養中のため通院困難な方に訪問診療可能な歯科診療所を紹介したり、県民や医療・福祉関係機関からの歯科に関する相談や問い合わせを受けている。2015年3月には県西部に、2018年8月には県南部に連携室を設置した。県内3ヵ所の各連携室の業務の取り組みについて報告する。

S01

歯科用金属が細胞に与える影響

○岡本 元太¹、劉 黎佩²、南 憲一²、渡邊 恵²、永尾 寛²、市川 哲雄²

¹徳島大学歯学部、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野

新しい材料の開発や CAD-CAM 技術の発展と共にメタルフリー治療が進められているものの、特に保険診療では、いまだに金属を用いる機会が多いのが現状である。金属はアレルギーの原因となり得ることが知られているが、その発症には不明な点が多く、金属アレルギーが歯科治療を困難にする疾患であることに変わりはない。

今回我々は、皮膚や粘膜を構成する 3 種類の細胞を歯科用金属で刺激して、その反応の違いを検討したので報告する。

S02

矯正歯科における歯科衛生士による 口腔筋機能療法に関する臨床統計学的検討

○国田 智成¹、松木 優承¹、山本 貴志¹、武川 香織²、齊藤 早紀²、三井なおみ³、
岩浅 亮彦³、田中 栄二³

¹徳島大学歯学部歯学科、²徳島大学病院診療支援部、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野

徳島大学病院矯正歯科では、2015年から歯科衛生士による口腔筋機能療法 (oral myofunctional therapy: MFT) を本格的に導入している。MFT とは、不正咬合や矯正治療の後戻りなどの原因となる口腔機能の諸問題を改善し、歯列や顎顔面の正常な成長発育を促進するとともに、健康な歯列を長期間維持するための環境づくりを目指すトレーニングであり、歯科衛生士にとっても新たな活躍の場として期待されている。

今回、矯正治療中の患者に対して歯科衛生士が実施した MFT に関する実態把握を目的に調査を行ったので報告する。

S03

メダカ咽頭歯における歯および歯周組織の形成遺伝子の発現

○松本 晋¹、金城聰一郎¹、守田 剛²、角田 佳折²、神尾 強司²、馬場 麻人²

¹徳島大学歯学部歯学科 5 年、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面形態学分野

魚類は哺乳類と比較して単純な歯を形成するが、哺乳類の歯の形成に関与する相同遺伝子が多く保存されている。そこで、本研究はメダカ咽頭歯における歯および歯周組織などの硬組織形成関連相同遺伝子を検索することにより、歯および歯周組織の形成に関与する遺伝子発現パターンについて検討することを目的とした。*in situ* hybridization の結果より、メダカの硬組織形成関連相同遺伝子は部位特異的な発現パターンを示した。

S04

口腔分子病態学分野における免疫・癌研究

○林 亜門¹、清水 朱里²、中西 美緒²、山内 加奈²、佐藤 真美³、邵 文華³、木曾田 晓³、福井 仁美³、木野 優子³、牛尾 綾³、山田安希子³、常松 貴明³、新垣理恵子³、工藤 保誠³、石丸 直澄³

¹徳島市立高校理数科2年生（ジュニアスチューデントラボ）、²徳島大学歯学部歯学科3年生（研究室配属）、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔分子病態学分野

本分野では、病理学を基盤として免疫疾患および癌に関する基礎研究を実施している。大学院生、研究室配属の歯学部学生および高校生（ジュニアスチューデントラボ）が中心となって、それぞれのテーマの中で、興味深い研究を進めている。免疫グループでは、シェーグレン症候群を中心とした疾患モデルを用いて病態の解明に向けた研究に取り組んでいる。癌グループでは、口腔癌の進展における増殖・浸潤の分子機構の解明に対して、分子病理学的解析およびdatabaseを活用したin silico解析によるアプローチにより取り組んでいる。我々の教室で取り組んでいるテーマについて紹介したい。

S05

舌ブラシの形態による舌清掃の効果と出血の比較

○大川 翔平¹、○間島希璃子¹、玉木 直文²、伊藤 博夫²

¹徳島大学歯学部歯学科3年、²徳島大学大学院医歯薬学研究部予防歯学分野

近年、様々な形態の舌ブラシが販売されているが、それらの使用効果に関する客観的データは少ない。そこで本研究では、舌ブラシの形態による口臭抑制効果と出血の有無の比較を行うことを目的とした。徳島大学歯学部歯学科学生を対象として実験を行った。実験方法として、舌清掃前後の舌苔スコア、細菌カウンタによる舌苔細菌数測定、Oral Chromaによる口臭測定、ペリオスクリーンを用いた潜血スコアの測定を行った。

S06

緑膿菌におけるバイオフィルム形成菌の抗菌薬抵抗性について

○岡本 舞^{1,2}、喜田 悠太³、村田 梨菜^{2,4}、Muhammad Reza Pahlevi²、
村上 圭史²、廣島 佑香²、片岡 佳子⁴、藤猪 英樹²

¹徳島市立高校理数科、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔微生物学分野、³徳島大学歯学部歯学科、

⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物・遺伝子解析学分野

バイオフィルムは慢性感染症の原因となるため問題となることが多いが、その理由として抗菌薬抵抗性が注目されている。しかし、そのメカニズムについては不明な点が多い。そこで緑膿菌のバイオフィルム形成菌の抗菌薬抵抗性に関する遺伝子について注目した。ペグバイオフィルムシステムを用いて、バイオフィルムを形成させ、抗菌薬を含んだ培地にバイオフィルムを移し、24時間曝露後、バイオフィルムを剥離し、生菌数を測定することで生存率を算出した。緑膿菌変異株を用いて、関連する遺伝子について検討を行っている。

S07

歯根膜細胞における低酸素環境下でのエピジェネティクス制御の解析

○熊澤 里莉¹、守谷 有紀¹、長谷川智一²、赤澤 友基³、岩本 勉²

¹徳島大学歯学部歯学科3年、²徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野、³徳島大学病院小児歯科

多細胞生物の体を構成する細胞は全て同一の塩基配列情報を持つにも関わらず、細胞種ごとに異なる表現型と遺伝子発現プロフィールを持つ。その制御機構はエピジェネティクスと呼ばれている。また今年度のノーベル生理学賞は細胞が低酸素状態に適応する「低酸素応答」のメカニズムを解明した3人の研究者であった。矯正治療時の歯の移動の際、圧迫側の歯根膜は低酸素状態になると考えられ、歯根膜細胞の低酸素環境への応答特性を知ることは重要である。そこで本研究では、歯根膜細胞を低酸素環境に置いた時にエピジェネティックな変化が生じるか解析を行ったので報告する。（学会外共同研究者：日大歯小児歯科 白川哲夫）

S08

間葉系幹細胞由来分泌因子がSchwann細胞の活性化に与える影響

○有馬 秀貴¹、加納 史也²、後藤秀一郎¹、橋本 登²、寺町 順平¹、岩本 勉³、山本 朗仁²

¹徳島大学歯学部歯学科3年、²徳島大学大学院医歯薬学研究部組織再生制御学分野、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野

幹細胞移植は様々な難治性疾患に対する新たな治療戦略として注目されている。その治療メカニズムは、移植された骨髄、脂肪組織、臍帯由来間葉系幹細胞が、パラクライン効果により自己再生能を向上したことにあった。われわれは過去に歯髄幹細胞由来培養上清（CM）を用いて様々な難治性神経疾患の治療効果を報告してきた。本研究では神経再生に重要なグリア細胞の1つであるSchwann細胞に着目し、多様なヒト組織から採取した間葉系幹細胞由来CMがSchwann細胞の活性化に与える影響について検討した。

S09

哺乳様式と不正咬合との関連性についての検討

○奥住 千聰¹、野坂 祐一¹、山崎椋太郎¹、天真 寛文²、佐藤 博子²、岩本 勉³、田中 栄二²

¹徳島大学歯学部歯学科、²徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎面矯正学分野、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野

徳島大学病院矯正歯科を受診した6～9歳の患者を対象とし、完全母乳育児の群をbreast-feeding群、人乳栄養のみ、もしくは混合栄養の群をbottle-feeding群とし比較することで、哺乳様式と不正咬合との関連性について調査を行った。

男子では、bottle-feeding群で鼻咽頭疾患の既往を有する患者の割合が有意に多く、またskeletal Class IIを呈する患者、FMAが35度を超えて大きい患者の割合が有意に多かった。女子では、前歯部反対咬合を呈する患者の割合がbottle-feeding群で多い傾向を認めたものの、有意差は認められなかった。

これらの結果より、哺乳様式は不正咬合の発現に何らかの影響を与えている可能性が示唆された。

S10

歯髄幹細胞由来無血清培養上清を用いた 脊髄損傷の治療法開発

○後藤秀一郎¹、加納 史也²、有馬 秀貴¹、橋本 登²、寺町 順平¹、岩本 勉³、山本 朗仁²

¹徳島大学歯学部歯学科3年、²徳島大学大学院医歯薬学研究部組織再生制御学分野、

³徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野

脊髄損傷（SCI）は様々な要因が関わり、その回復を困難なものとしている。近年、脊髄損傷に対して細胞移植治療の研究が注目されている。我々は以前にヒト歯髄幹細胞由来培養上清（SHED-CM）の直接投与を用いてラットの下肢運動機能回復について改善する事をしめた。しかしながら、実臨床では治療の簡便さや反復投与の点から静脈内投与が望まれている。本研究では、ラットSCIモデルにSHED-CMを静脈内投与し、治療有効性の評価と治癒メカニズムの解明を目指した。

S11

唾液マイクロ RNA の機能解析

○橋本 真舞¹、村田菜々香¹、水澤 典子²、吉本 勝彦²

¹徳島大学歯学部歯学科第三年次、²徳島大学大学院医歯薬学研究部分子薬理学分野

マイクロ RNA（以下 miRNA）は、標的となるメッセンジャー RNA（以下 mRNA）の3'非翻訳領域に結合し、遺伝子発現において負の転写後調節を行う。我々は、唾液中に多く見られる miRNA と細胞の増殖や修復の関連を検討するため、上皮増殖因子受容体（EGFR）およびその調節因子に関連する mRNA の 3' 非翻訳領域における miRNA 結合部位をオンラインデータベース miRDB および Targetscan で予測し、唾液 miRNA の機能解析を行ったので報告する。

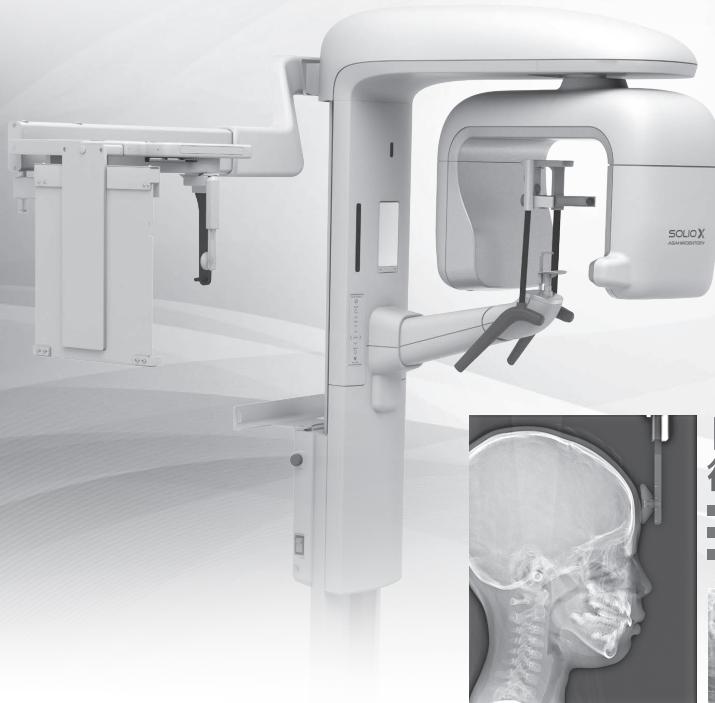
S12

マイクロ RNA の細胞増殖への影響

○村田菜々香¹、橋本 真舞¹、水澤 典子²、吉本 勝彦²

¹徳島大学歯学部歯学科第三年次、²徳島大学大学院医歯薬学研究部分子薬理学分野

唾液には口腔内で役立つ消化・抗菌・保護・修復・緩衝などの作用がある。近年、短い RNA（マイクロ RNA、以下 miRNA）が唾液を含むあらゆる体液中に安定して存在することが明らかになってきたが、その機能は不明なことが多い。我々は、独自の miRNA プロファイリングにより唾液中で多量に認めた miRNA 種に注目し、miRNA 模倣核酸を用いた培養細胞への導入により、細胞の増殖に関与する miRNA を検討したので報告する。



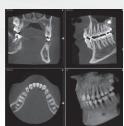
SOLIO X MAXIM

CBCT+Pan+Ceph



「矯正診断をかえる」 待望のセファロモデル登場

- ピクセルサイズ76μmで実現した、朝日レントゲン史上最高画質のセファロ画像。
- ブレを防ぐ、撮影時間わずか1.0秒以下のワンショットセファロ撮影。
- CT撮影後に、かんたんな操作で行える、様々なCT画像再構成機能が診断の幅を広げます。



■ CT D-mode
φ51mm×55mm(H)

■ CT I-mode
φ90mm×91mm(H)

販売名:ソリオ エックスシリーズ 証認番号:228AA8ZX00061000

製造販売元 朝日レンタル工業株式会社 〒601-8203 京都府京都市南区久世路山町376番地の3
TEL:075-921-6330 FAX:075-921-6675

※日本国内の各拠点の詳細につきましては、WEBサイトに掲載しております。※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

<http://www.asahi-xray.co.jp>

朝日レンタル工業株式会社
販売名:ソリオ エックスシリーズ 証認番号:228AA8ZX00061000
登録方法:asahi@f.bmb.jpにメールを送信してください。

SUNSTAR

疾患治療に伴う口腔トラブルをもった患者様のお口のケアのために。

バトラー口腔ケアシリーズ

Specialty Goods



BUTLER

1923年以来、世界のデンタルプロフェッショナルに愛用され、今もなお進化しつづけるブランド——BUTLER(バトラー)。

商品のお問い合わせ 072-682-4733

<http://jp.sunstar.com>

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号

※パッケージデザインは予告無く変更される場合があります。

®登録商標。BUTLER®は登録商標です。

薬価基準収載

歯周疾患治療剤

ヒノポロン[®] 口腔用軟膏

ヒノキチオール・ヒドロコルチゾン酢酸エステル・アミノ安息香酸エチル 配合剤

HINOPORON Oral Ointment

処方箋医療品 注意-医師等の処方箋により使用すること

包装 5g×1本 5g×10本 5g×20本



効能・効果・用法・用量・禁忌を含む使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。

製造販売元[資料請求先] 昭和薬品化工株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-17-11 <http://www.showayakuhinkako.co.jp>
お問い合わせ先:0120-648-914 <受付時間>9:00~17:30(土・日・祝日・当社休日を除く)

HPA42M-16MPW01

3M Science.
Applied to Life.[™]

リライエックス[™] ルーティング プラス 合着用グラスアイオノマー系レジンセメント

歯科用合着・接着材料 I
(レジン系/標準型)

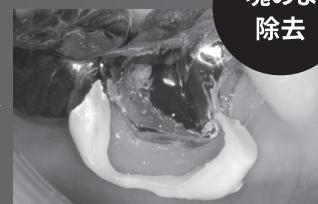
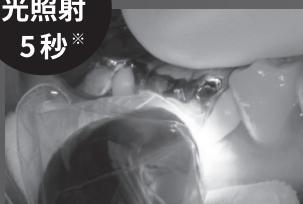
17点



各面
光照射
5秒※

余剰セメント除去に
時間を費やしていませんか?

一塊のまま
除去



写真提供: 東京都ご開業 佐氏 英介 先生

※ 化学重合の場合はセット後2分で余剰除去が可能

スリーエム ジャパン株式会社
歯科用製品事業部

Web [3M歯科](http://go.3M.com/dental-jp)

<http://go.3M.com/dental-jp>

3M コールセンター **0120-332-329**

※受付時間/9:00~17:00 月~金 (土・日・祝を除く)

※フリーダイヤルが繋がらない場合は、03-6409-3157をご利用ください。

販売名: リライエックス ルーティング プラス (歯科合着用グラスボリュアルケノエート系レジンセメント) 証認番号: 229AKBZX00036000

※掲載の内容は、2019年10月現在のものです。希望医院価格は、すべて税抜き本体価格です。 3M、リライエックスは、3M社の商標です。 © 3M 2019. All Rights Reserved.

KING

**歯科用ユニット
ANEILE アネイル**

安心して使える 笑顔になれる

目指したのは安心感を与えるデザイン。
患者さんには負担をかけずに
ゆったりできる心地よさを、
先生には高い機能性と
操作性を提供。
笑顔があふれる歯科医院に。

新登場
ベースマウント
プレーン式テーブル
動線を分離したレイアウトに最適

新登場
ニーフレックスチェア
乗降りがスムーズな膝折れタイプ

**次世代型 訪問診療用ユニット
PORTABLE UNIT
がれんEX HYBRID**

業界初 コードレス対応

ポータブルユニットはついにコードレスの時代へ

すぐに使って
片付け簡単
準備
1分
片付け
1分

がれんEX 可搬式歯科用ユニット 管理医療機器（クラスII）
特定保守管理医療機器 設置管理医療機器 医療機器認証番号：230ABZX00022000号

がれんEX 可搬式歯科用ユニット 管理医療機器（クラスII）
特定保守管理医療機器 医療機器認証番号：229ABZX00024000号

ひろさわ group 行き届いたサービスをお届けするネットワーク 株式 ジャスダック上場 コード番号7986 歯科衛生士育成の専門学校を併設している唯一のメーカーです

日本アイ・エス・ケイ株式会社
平成26年4月2日よりキング工業株式会社から社名変更いたしました

本社・筑波工場 〒300-4297 茨城県つくば市寺具1395-1 ☎029-869-2001㈹ 東京事業所 〒111-8506 東京都台東区元浅草2-7-13 ☎03-3833-2001㈹
札幌支店 ☎011-884-2001㈹ 群馬営業所 ☎0270-61-2001㈹ 移岡営業所 ☎054-281-2001㈹ 大阪支店 ☎06-6748-1201㈹ 高松営業所 ☎087-868-2001㈹
盛岡支店 ☎019-652-2001㈹ 北関東支店 ☎029-869-2001㈹ 名古屋支店 ☎052-723-2001㈹ 広島支店 ☎082-254-2001㈹ 福岡支店 ☎092-928-2001㈹
仙台支店 ☎022-283-2001㈹

NHOZA ノーザ

正しいカルテ記載は、
信頼できるシステムから

株式会社 ノーザ
〒164-0011 東京都中央区中央1-21-4 (ノーザビル)
TEL 03.5348.1881 (代表) FAX 03.5348.1885
WEB <http://www.nhosa.com>

※本広告掲載製品は医療機器ではありません。※製品改良のため製品の外観や仕様、画面の一部などを予告なく変更することがあります。※製品や画像の色調は実物と異なる場合があります。※記載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。※iPadはApple Inc.の商標です。※「WiseStaff」は株式会社ノーザの登録商標です。

**歯科電子カルテ搭載システム
WS+ WiseStaff 9 Plus**

いつもの治療入力の操作で、電子保存の三原則に準拠した電子カルテが作成可能。
院内オペレーションを“かんたん”にするための電子カルテです。
iPadとの連携で、診療に必要な情報が院内のどこからでも登録・確認が可能です。

セキュアな回線で、院外の端末を安全に接続。
つながる利便性。

訪問診療/分院管理
モバイルVPN接続サービス

ノーザはソフト開発による、ユーザー様のシステム利便性向上に取り組んでいます。
詳細はホームページをご案内しています。

ノーザ

メタル、ニケイ酸リチウム
ジルコニアのクラウン&ブリッジに 前処理なしで合着 ◎ HAKUSUI

新発売 新素材

セラミアセメント

歯科用バイオセラミック系合着用セメント ceramir® CROWN & BRIDGE QUICK MIX

made in
sweden

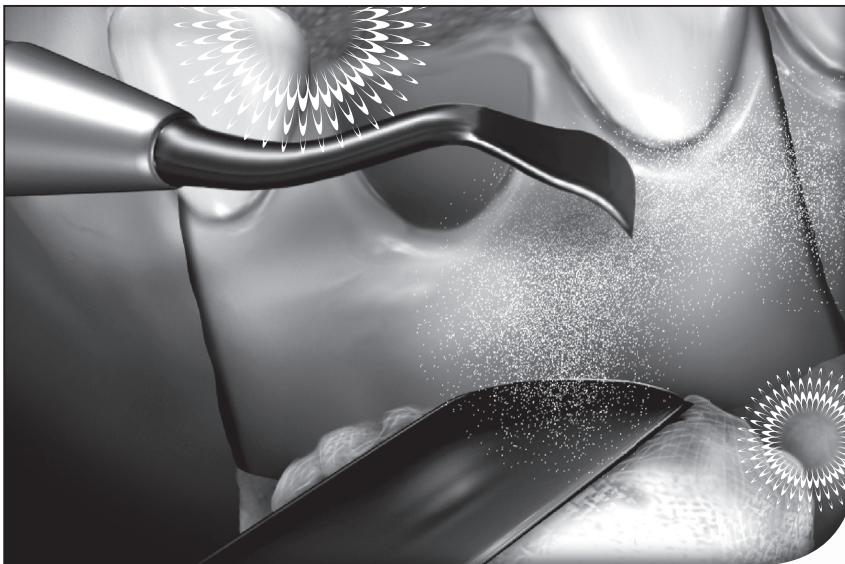
グラスアイオノマーの長所と
レジンセメントの接着力

アパタイトを形成しながら
辺縁を長期封鎖

医療機器認証番号:301AKBZX00032000 管理医療機器

術後疼痛がほぼ起こらない 非常に高い合着保持力

- ・フッ素除放で二次カリエスの発生を抑制
- ・マージン部の変色が極めて少ない
- ・歯齦までの距離がないケースにも最適
- ・生活歯、失活歯ともに適用可能
- ・長期辺縁封鎖性



BLACK LINE

ブラックラインとは、高性能なブラックコーティング加工が特長の外科製品シリーズです。その性能により強いライトの下でも乱反射を抑制し、術中により良い視野を確保します。また、鋭利さと耐久性を強化すると共に、歯肉のトンネリング法やマイクロサーボリー時においての滑りを改善します。



Hu-Friedy
How the best perform

【製造販売元】製造に従事する会社(いわゆる)
ヒューフリディ・ジャパン合同会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-13-10 プロステック新業6F Tel 03-4550-0660 【受付時間】9:00-17:00 (土・日・祝日を除く)

【製造元】Hu-Friedy Mfg. Co., LLC

【商品名】(リードコード) / 牙齿带隙器 / 一般名称 / 全身麻酔用器具用具 / リオステール モルタル 9 ブラックライン (P99) / 1,800円 / 使用用器具及び器具 / 1383X0195G12101 / リオドノタルオゼル ブーザー V2 ブラックライン (P98) / 8,600円 / 使用用器具及び器具 / 1383X0195G0402 / ポンチキューブル ルーカス86 ブラックライン (CL166) / 1,800円 / 使用用器具及び器具 / 1383X0195G0601 / 逆歯根器の刃 / 第一逆歯根器 (ラミナ) / 開鑿用器具の使用時に逆歯根器は含まれておりません。標準仕様は、2017年1月1日現在のものです。仕様および外観は、製造改修のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。ご使用前に開封しては、製造の日付や文書を読みながらご使用ください。ご購入より開封後は、ご使用ください。



コメット Sダイヤモンドバー

届出番号:2782X000001000001 一般

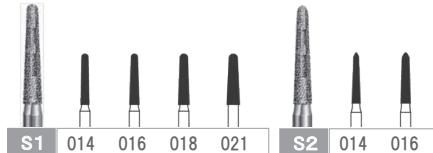
的

- ✓ 疑似六角形の軸が滑らかな切れ味を
バックアップ!
- ✓ シャープなエッジのコアースダイヤ
粒子が優れた切削力を発揮!!

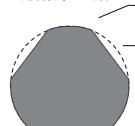


(軸材形状)

高切削力の支台歯形成用ダイヤバー



切削部の断面



疑似六角形カット
(交互に4段重なっています)

ラウンド面

- ファーストカッティング面
- ザクザクと切削

フラット面

- 注水をなじませるセカンドカッティング面
- 目詰まりを洗い流しながらシャープに切削



株式会社モモセ歯科商会

大阪本社・大阪営業所
大阪市天王寺区南河堀町 6-35
Tel 06-6773-3333(代)

東京営業所
東京都台東区台東 2-24-21
Tel 03-3835-2653(代)

九州営業所
福岡市博多区那珂 6-24-21
Tel 092-575-6060(代)

独自の技術で患者さんの負担を軽減

TMR SERIES

TMR MTA cement Mielle

TMR-MTAセメント ミエール

X線造影性が60%向上*

产学連携で誕生した国産MTAセメント

*弊社従来品比

水とのなじみが良く、練和が容易
ビスマスフリーなど、5+1の特長をもった日本製のMTAセメント。



TMR-MTAセメント ミエール 管理医療機器 歯科用填縫材料 認証番号: 231AABZX00017000
TMR-ゼットフィル10 管理医療機器 歯科充填用コンポジットレジン 認証番号: 230AABZX00066000
TMR-アクアボンド0 管理医療機器 歯科用象牙質接着材(歯科セラミックス用接着材料) (歯科金属用接着材料)
認証番号: 230AABZX00076000

TMR Z Fill 10.

TMR-ゼットフィル10.

フィラーテクノロジーはここまで来た
フッ素徐放性と高強度の両立

ヤマキン独自のフィラーテクノロジーにより、
フッ素徐放性と強度を両立した
コンポジットレジン。

YAMAKIN

コンポジット
レジン



TMR AQUA BOND 0

TMR-アクアボンド0

治療時間を短縮する

水を味方につけた
ゼロ秒ボンディング

湿潤状態でも安定した接着を実現
脱灰時間ゼロ。患者さんの負担を減らします。



ボンディング材

テクニカルサポート 0120-39-3944 (9:00~17:00) ワンタッチ

本社: 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町3番7号

東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・高知

生体科学安全研究室: YAMAKINデジタル研究開発室

〒781-5451 高知県香南市香我美町上分字大谷1090-3

<https://www.yamakin-gold.co.jp>

Green Aqua

安心・安全な除菌・消臭液

薬品は一切使用していません。



グリーンアクア ホンモノの「4つのこだわり」

①こだわり

原料（塩水）

グリーンアクアは塩水を電気分解して生成される電解水です。2つの原料（塩・水）にこだわって作っています。塩は純度の高い電解水生成原料塩を使用しています。水はクリーンミリューシステム（RO 逆浸透膜方式）により不純物を取り除き、限りなくゼロに近い最高の純水を使用しています。グリーンアクアが経時変化を起こさず安定している理由の1つは最高の原料にこだわっている証です。

②こだわり

専用容器

グリーンアクアの容器は蓄圧式という特殊容器で市販の容器よりも霧が細かく、スプレーした瞬間広範囲に広がります。顔や手に噴霧するとその細かさがすぐにわかります。又、グリーンアクアを安定させるため、熱や直射日光に強い遮光性に優れた専用素材で作られています。市販されている透明・半透明の容器は数日で経時変化を起こし濃度が失活してしまいます。グリーンアクアは容器にも守られていてこだわりポイントの1つです。

③こだわり

噴霧装置

専用噴霧装置はグリーンアクアを超微粒子化させ短時間で広範囲に空間噴霧することも可能です。専用噴霧装置は振動子などの精密部品も耐久性に優れた日本製（エコーテック社）で作っています。霧の細かさも3ミクロン～4ミクロンと超微粒子化しています。（ちなみに一般的な加湿器の霧が9ミクロンと言われています）超微粒子の為、ガラスの結露や水滴の心配もありませんのでオールシーズン使用することが可能になりました。

④こだわり

安全性

グリーンアクアは「人」「モノ」「環境」に優しい電解水です。お客様が安心してご使用頂けるよう皮膚・粘膜・眼、そして経口毒性の安全性試験も取得しております。試験濃度は通常使用する低濃度でなく原液濃度で安全性試験を実施していますので更に安心です。又、グリーンアクアをご提案させて頂く際に必ず「メリット」「デメリット」もご説明させていただいております。弊社はお客様が「より安心してご使用いただけるよう努めています。

グリーンアクアとは塩水を電気分解して生成される安心・安全な除菌・消臭電解水です。薬品は一切使用しません。

成分は次亜塩素酸・次亜塩素酸イオンで有機物を分解してウイルスを不活化、細菌を除菌します。又、ニオイも短時間で分解する瞬間消臭効果も抜群です。グリーンアクアは現在、全国約4,000か所の医療機関や介護施設で導入されている安心安全なドクター専門品です。

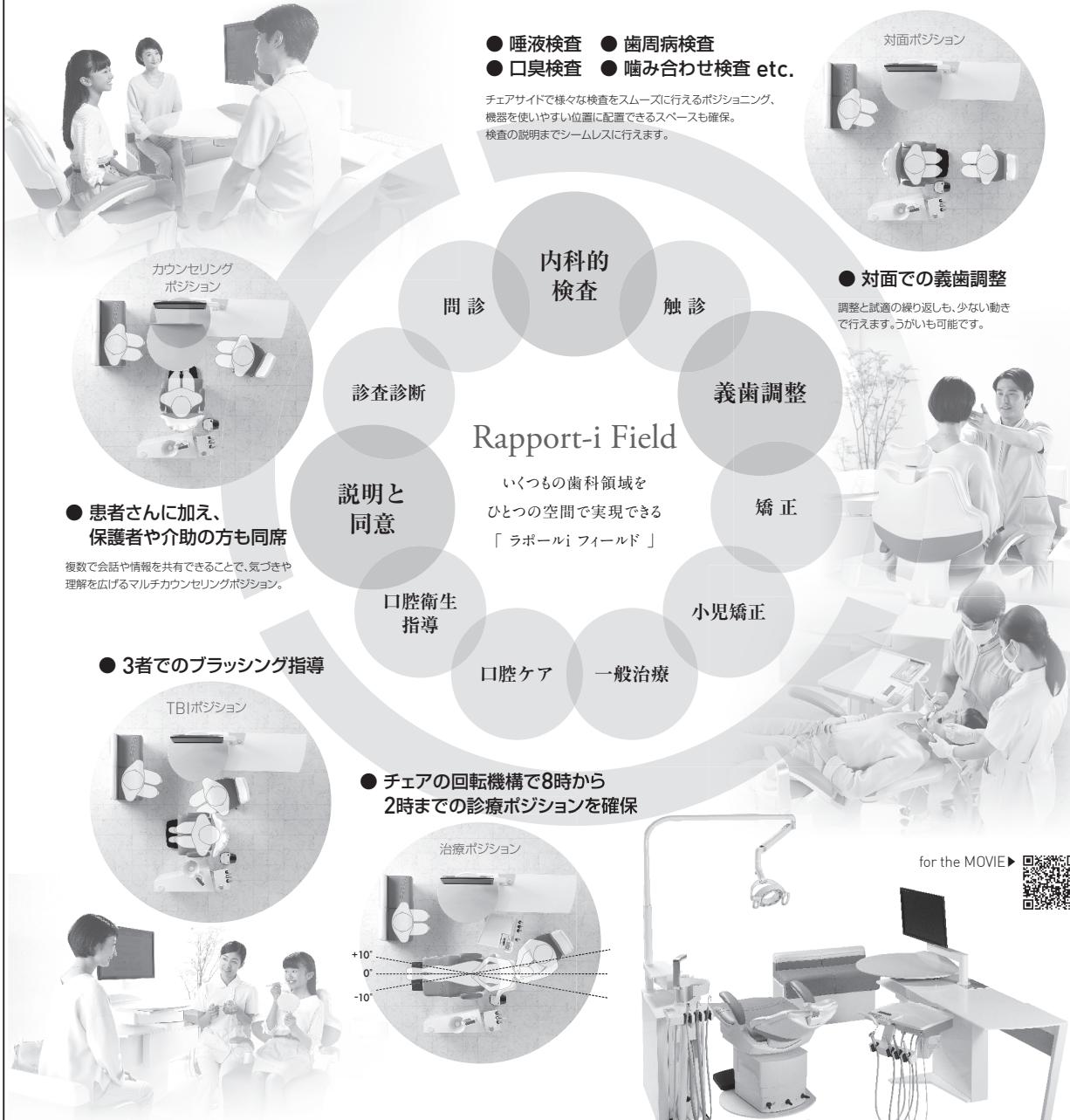
株式会社シーエムエス

Rapport-i

（ラポール i）

**TAKARA
BELMONT**

子どもからお年寄りまでの全ての方に対し、
口元から全身の健康増進を目指して、
患者さんに寄り添い、健康を共に築きあげる



販売名	一般的な名称	認証登出番号	クラス分類	特定保守	設置管理	製造販売元
ラポールi	歯科用ユニット	229AFBZK00021000	管理	該当	該当	タカラベルモント株式会社
ラポールi チェア	歯科診査・治療用チェア	2781X00042001040	一般	該当	該当	タカラベルモント株式会社
スララライトMタイプ	汎用歯科用照明器	2781X00042002034	一般	非該当	非該当	タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社 <https://www.takara-dental.jp>

[大阪本社] 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1 [東京本社] 〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-19

札幌 (011)863-2007 盛岡 (019)652-9744 仙台 (022)232-4480 郡山 (024)925-0742
横浜 (025)268-0333 さいたま (049)640-5900 千葉 (043)302-0267 東京 (03)3405-6877
新潟 (045)681-6241 名古屋 (052)932-6251 金沢 (076)221-8412 京都 (075)241-3425
横浜 (06)6212-3602 神戸 (078)231-6751 岡山 (086)233-8825 広島 (082)278-2411
大阪 (06)6212-3480 福岡 (092)411-2746 鹿児島 (099)226-9481 沖縄 (098)897-6656

修理および
点検受付窓口
TEL(0120)194-222 [フリーダイヤル]
FAX(072)344-7985

●印刷物のため、色は実物と多少異なることがあります。 ●寸法・仕様は予告なく変更することがあります。

Primescan

Enjoy the scan.

<http://www.dentsplysirona.com>



一般的名称: チュアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名: セレック プライムスキャン AC 承認番号: 30100BZX00044000 管理医療機器 特定保守管理医療機器

THE DENTAL
SOLUTIONS
COMPANY

 Dentsply
Sirona

X-Smart IQ® ハンドピース & Propex IQ® 根管長測定器 Increase your IQ



X-Smart IQ® ハンドピース

手指に馴染みやすいバランスのとれた
スリムなコードレスタイプ



Endo IQ® アプリ

デジタルエンドソリューション
様々な機能を搭載・連動させた
デジタルエンドソリューション



根管長測定器

X-Smart IQとPropex IQが連動し、
根管長測定をしながら根管拡大形成が可能

販売名: プロペックス IQ

一般的の名称: 歯科用根管長測定器

医療機器認証番号: 301AGBZX00016000

クラス分類: II (管理・待管)

販売名: X-スマート IQ

一般的の名称: 歯科用根管拡大装置

医療機器認証番号: 229AGBZX00094000

クラス分類: II (管理・待管)

デンツプライシロナ株式会社

本社 / 〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル ☎ 0120-789-123 www.dentsplysirona.com

THE DENTAL
SOLUTIONS
COMPANY

 Dentsply
Sirona
Endodontics

NIKKOSHA

患者さんの笑顔
がみたいから

designed by Naoko Fujimori

インプラントを長期維持させるためにメインテナンスに必要なアイテムを、
日米歯科衛生士の藤森直子先生がデザインしました。

臨床で何度も検証しながら作り上げた“Naoモデル”は、インプラントに適した
素材と使いやすさでメインテナンスの効率をアップします。

カラー探針



28632 カラープローブNaoタイプ
標準価格 2,500円(税別)

エキスプローラー



28631 チタン製 エキスプローラー11/12 Naoタイプ
標準価格 6,000円(税別)

- ハンドルの重さが適度なプローピング圧をコントロールしやすく
安定感があります
- 見やすい黄色と黒の3-3-2-3目盛り

- 鋭敏な長いシャンクで歯肉縁下の深部まで探査するのに適しています

キュレットスケーラー

28636 チタン製 Gキュレットミニ Naoタイプ 3本組 標準価格 30,000円(税別)



3/4(ピンク)



11/12(イエロー)



13/14(ブルー)



歯科衛生士 藤森直子先生

アボロ歯科衛生士学校 卒業
2009年 ニューヨーク大学歯学部衛生士科 卒業
都内自費診療歯科クリニック勤務
日米歯科衛生士

- ミニキュレットだから上部構造が外せないケースでも、インサートから適切な角度に合わせてアプローチ
- シャンクの柔らかさは、側方圧をかけることでメインテナンスしにくい上部構造からもボケットに挿入しやすい設計
- 正しい作業端を選択すれば、インツルメントの番号が自然に自分の方を向くデザイン
- キュートなカラーコードでインツルメントの選択ミスを防ぎます

チタン製 エキスプローラー11/12 Naoタイプ
カラープローブNaoタイプ
チタン製 Gキュレットミニ Naoタイプ
【発売元】
医療機器届出番号【一般】11B1X1000664D110
医療機器届出番号【一般】11B1X1000664D008
医療機器届出番号【一般】11B1X1000662D109

【取扱店】

株式会社マルミ歯科商店 徳島支店

〒770-0846 徳島市南内町1丁目43番地
TEL: 088-622-0816
FAX: 088-623-5304

<http://www.kk-nikkosha.com>

【発売元】

NIKKOSHA

株式会社

日本歯科工業社

本社 〒110-8530 東京都台東区上野5-12-8 TEL.03-3836-2191 FAX.03-3836-2199

博多オフィス 〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出4-5-8 グレースコート九大病院前105 FAX.092-710-6212

【販売元】

ALCADERC

株式会社

アルタデント

本社 〒530-0012 大阪市北区芝田2-8-31 第三東洋ビル2F TEL.03-3836-2191 FAX.03-3836-2199

東京支社 〒106-0047 東京都港区南麻布2-14-19 オキノビル3F TEL.03-5420-2290 FAX.03-5420-4790



バイオアクティブ

ガラス

Bioactive Glassが
封鎖性と生体親和性を向上し
根尖の治癒環境を整える。

誰が練っても、いつも
同じ仕上がり。



臨床使用例【根充直後】



画像提供：九州歯科大学口腔保存治療学分野

歯科用根管充填シーラ

ニシカキャパルシーラーBG
Bioactive Glass

【包装】ダブルシリンジ 1本 [A材:4.5g (2.5mL) / B材:4.5g (2.5mL)]

【標準価格】11,000円

医療機器認証番号:229AD8ZX00059000 / 一般的名称:歯科用根管充填シーラ

冷蔵保存 (1~10°C)※凍結を避けること

チェックタイム短縮

テクニカルエラー低減

シングルポイント根管充填



スリムな形状で
術野を確保



シンプル操作の
根管充填が可能

新発売



詳しくはこちらを
ご覧ください。



シングルポイント根管充填用ツール

BG JILL

【包装】チップ・ガスケット 各20本入、シリンジ 1本入

【標準価格】3,600円

医療機器認証番号:08B3X1001100001 / 一般的名称:歯科用充填・修復材補助器具



日本歯科薬品株式会社

本社 山口県下関市西入江町2-5 〒750-0015

営業所 大阪・東京・福岡

<http://www.nishika.co.jp/>

お問合せ・資料請求《お客様窓口》

0120-8020-96

口腔粘膜治療剤

医療用後発医薬品

薬価基準収載

オルテクサー[®]口腔用軟膏 0.1%

トリアムシノロンアセトニド 口腔軟膏

ORTEXER



製造販売元／(株)ビーブランド・メディコーデンタル 大阪市東淀川区西淡路5-20-19

う蝕抑制・象牙質知覚過敏鈍麻剤

医療用医薬品

保険適用

劇薬

サホライド[®] 液歯科用38%

(フッ化ジアンミン銀 溶液)



製造販売元／東洋製薬化成株式会社 大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号

効能・効果・用法・用量・禁忌を含む「使用上の注意」等については、製品添付文書をご参照ください。



資料請求先

株式会社 ビーブランド・メディコーデンタル
大阪市東淀川区西淡路5-20-19 TEL:(06)6370-4182
<https://www.bee.co.jp/>

くすりに関するご相談は「医療情報推進部」まで。

☎(03)3295-6926

土・日・祝を除く 9:00~17:00

製品情報
弊社ホームページ



作成日：2019.11

PLANMECA Digital Perfection



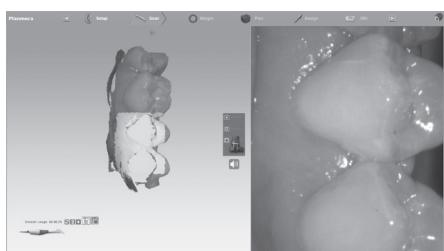
プランメカ Viso™

一般的名称：アーム型X線CT診断装置、
デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置
販売名：プランメカ Viso 認証番号:301ADBZI00046000



プランメカ Emerald™

一般的名称：チアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット、
デジタル印象採得装置、
歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
販売名：プランメカ Emerald 承認番号:23000BZI00042000



プランメカ Creo® C5

一般的名称：歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
販売名：プランメカ Creo C5 届出番号:13B1X00265000205



プランメカ PlanMill® 30 S

一般的名称：歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
販売名：プランメカ PlanMill 30 S 届出番号:13B1X00265000204

プランメカ PlanMill® 40 S

一般的名称：歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
販売名：プランメカ PlanMill 40 S 届出番号:13B1X00265000203



www.planmeca.com/ja

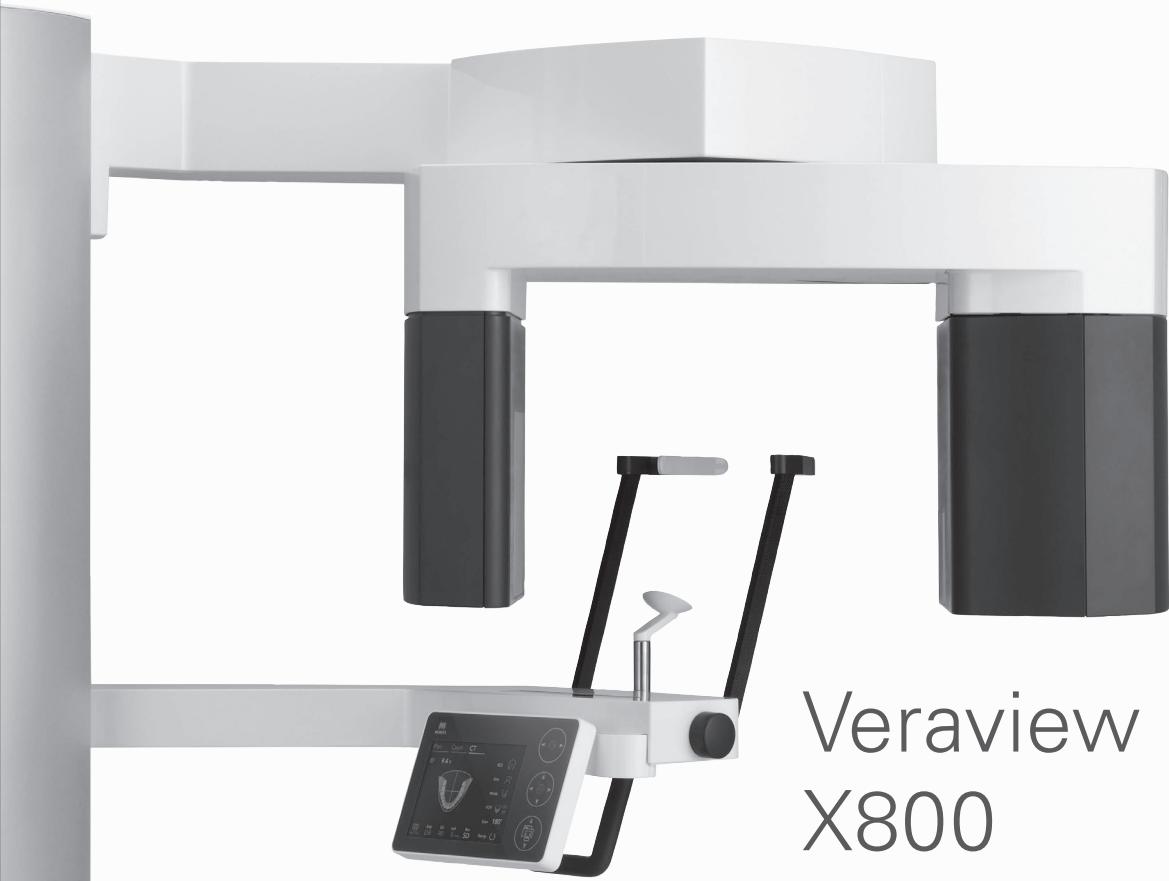
詳細は以下Planmeca Japan 株式会社の
正規販売代理店へお問い合わせください

PLANMECA
Japan

Planmeca Japan 株式会社
東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号室町古河三井ビルディング 16階
Tel.03-6665-0095, Fax.03-6665-0096
高度管理医療機器等販売業・貸与業許可証:第5502195098号



Thinking ahead. Focused on life.



Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ペラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80 μ mのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。

さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。



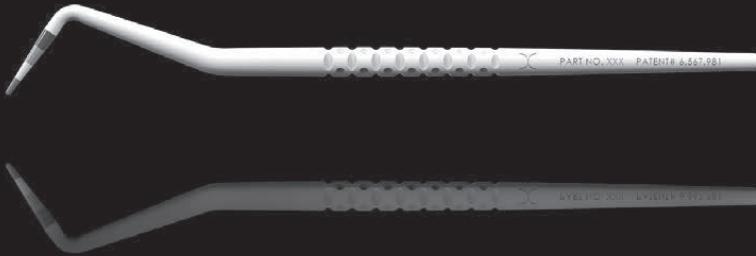
発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06. 6380 2525 営京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03. 3834 6161
お問合せ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール) 製造販売・製造 株式会社 モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075. 611 2141

販売名: ペラビュー X800 標準価格 9,600,000円~ (消費税別途) 2019年3月21日現在 一般的名称: デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置
機器の分類: 管理医療機器 (クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 228ACBZ-X00008000

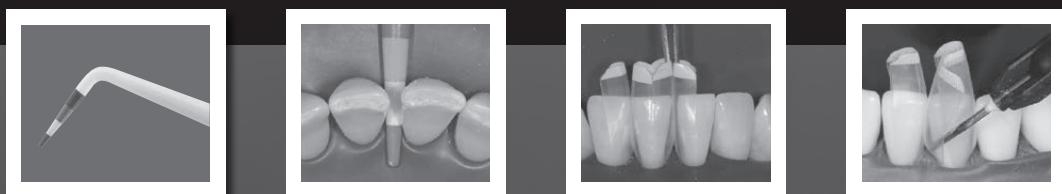
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800



× BIOCLEAR



前歯部修復を簡単・きれいに！



バイオクリアーマトリックス から
ブラックトライアングルキット
新登場！



一般医療機器 医療機器届出番号:13B2X10359110004
製造業者:バイオクリアーリー社(略称) 製造国:アメリカ合衆国(USA)

株式会社 **モリムラ**

〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-28-10-3F
TEL 03-5808-9350 FAX 03-5808-9351
<http://www.morimura-jpn.co.jp>

一般医療機器 歯科材料8 歯科用石膏及び石膏製品 JMDN70897020 歯科用硬質石膏 届出番号:13B2X1023300028(メガストーン)・13B2X1023300001(ニューハイストーン)・13B2X1023300027(ニューハイロック)

低膨張歯科模型用硬質石膏 メガストーン



本当の精度!!
本当の満足!!

精密印象の再現には、膨張率の低さが
欠かせません。硬化膨張を抑え精度の高い
模型製作をお手伝いします。

[硬化膨張率 2時間後:0.07%→48時間後:0.1%以下]

色調 イエロー・ブラウン・グレー

歯科用硬質石膏 ニューハイストーン

選べる8色。

クリーミーな練和感、適度な流動性と盛り付け性。
練和から成型まで、優れた作業性を発揮します。

色調 ホワイト・イエロー・ブルー・ブラウン・グリーン・
ピンク・ニューグリーン・グレー



歯科用超硬質石膏 ニューハイロック

世界基準へ。

超硬質石膏に求められる特性に
こだわりながら、扱いやすさと
コストパフォーマンスも追求しました。

色調 ブラウン・ホワイト



■製造販売元

吉野石膏株式会社
TEL:03-0872 東京都足立区江北2丁目1番1号

■販売元

吉野石膏販売株式会社
本社:〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目8番3号
TEL:03-3944-6571 FAX:03-3944-6577

大阪営業所:〒538-0052 大阪市鶴見区横堤4丁目20番34号
TEL:06-6915-1250 FAX:06-6915-1255
福岡営業所:〒815-0004 福岡市福岡市南区高木1丁目14番8号-A
TEL:092-437-2112 FAX:092-437-2113

<http://www.yoshino-gypsum-sales.com>

DENTAL SHOW 2020

mi

date

2020年2月

1日 16:00-20:30

2日 9:00-16:00

place

徳島県JA会館

徳島市北佐古一番町5番12号

株式会社マルミ歯科商店

徳島支店／徳島市南内町1丁目43

TEL 088-622-0816 FAX 088-623-5304

出展協賛メーカー

国内の今話題の器材を取り揃えて、皆さまのお越しをお待ちしております。

朝日レントゲン工業(株)
ウエルテック(株)
ウルトラデントジャパン(株)
A.R.メディコム・インク・アジア・リミテッド
(株)OSGコーポレーション
カボデンタルシステムズ(株)
亀水化学工業(株)
京セラ(株)
コルテンジャパン合同会社
サンエス石膏(株)
サンスター(株)
サンデンタル(株)
サンメディカル(株)
(株)シーエムエス
(株)ジーシー
(株)松風
昭和薬品化工(株)
(株)スマートプラクティスジャパン
スリーエムジャパン(株)
(株)セキムラ
太平化学産業(株)
大榮歯科産業(株)
タカラベルモント(株)
(株)デンタルダイヤモンド社
デンソープライシロナ(株)
(株)東京技研
東京歯科産業(株)
(株)トクヤマデンタル
内外歯材(株)
(株)ナカニシ
(株)ニッシン
日本アイ・エス・ケイ(株)
(株)日本歯科工業社
(株)日本歯科商社
日本歯科薬品(株)
ネオ製薬工業(株)
(株)ノーザ
白水貿易(株)
(株)ビープラント・メディコーデンタル
ヒューフレディ・ジャパン合同会社
福岡デンタル販売(株)
Planmeca Japan(株)
プレミアムプラスジャパン(株)
ペントロンジャパン(株)
(株)マイクロテック
マニー(株)
睦化学工業(株)
(株)メディカルプログレス
(株)モモセ歯科商社
(株)モリタ
(株)モリムラ
YAMAKIN(株)
(株)ヨシダ
吉野石膏販売(株)
ライオン歯科材(株)
(株)YDM

全56社[五十音順]